滿洲日報

ス國務長官の聲明は全く誤傳と判明

その眞相につき調査の結果を外務當局から發表

【東京二十九日發】外務省は二十九日午後七時左の聲明を公表した
スチムソン長官が錦州問題に關聯し日本の態度を非難せる旨の報道は誤傳にして特に我が外務當局が軍當局との合意の上錦州攻撃の誓約を與へたりとか又は滿洲に於ける我が軍事的行動に關し帝國政府が遺憾の意を表したりと云ふが如き事は全然事實無根なる旨同長官より言明せられたり

ス長官の聲明否定

米國大使館より發表

【東京二十九日發】米大使館は二十九日夜スチムソン氏の聲明問題に關し左の如く發表した
スチムソン氏から出たと傳へられる會見談はス長官の態度と相容れぬものとの通牒を國務省より接受した、國務長官は日本に對し傳へられた如き態度を執り乃至表明した事實は無いのみならず長官の言明によれば滿洲紛爭を妨げる如き字句を米新聞紙が使用せざる樣盡力したので長官は自分の云つた言葉として引用された如き語句は決して使つた事はないと言明した

眞の事態惡くなし

ス長官と會見後 出淵大使語る

【ワシントン特電二十八日發】出淵大使は本日國務省にスチムソン長官を訪問、錦州問題に關し會談したが、スチムソン長官は出淵大使に對し問題の聲明をなしたる事なしと語り、出淵大使も日本は錦州並にチチハルに對し敵對的軍事行動をなしおらざる旨を確言した、また出淵大使はキャッスル氏とも會見したがスチムソン氏との會見後左の如く語る
余は日本軍が錦州を攻撃する事はないと思ふ、余はスチムソン氏が行つた聲明を非難した日本外務省のステートメントなるものは見てゐないが眞の事態は決してそんなに惡いのではないから大した事はない

漸く釋然となる

駐日大使の外相訪問で

【東京二十九日發】スチムソン長官は二十八日出淵大使との會見で「二十七日夜余と記者との會見內容が幣原外相に迷惑をかけた如き事あるに於ては頗る遺憾とする處である」と釋明したがスチムソン長官は更にフォーブス大使に幣原外相を訪問し右の旨を傳へる樣訓電した、依つてフォーブス大使は二十九日午後三時外務省に幣原外相を訪問、約四十分間に亘り懇談を重ね「スチムソン長官の意志は決して日本を誹謗せんとの動機に出たのではなく、右記者との會見が幣原外相に迷惑を及ぼすに於ては甚だ遺憾とす」と重ねて釋明し幣原外相はスチムソン長官の立場を諒とし日本政府はこの問題を追窮せんとするものにあらざる旨を述べたがこれによりスチムソン長官の聲明問題は日米間に一切釋然するに至つた

日本の激昂をかつた元は新聞記述だと

米國官民は意外の感

【ワシントン廿八日發】スチムソン氏の所謂滿洲事變聲明に日本朝野が非常に激昂したとの報に米官民は意外の感に打たれて居る、ス長官が二十七日なしたる談話は日本に一部の通信で傳へられたものと全く異るもので日本を激昂せしむる如き言葉は少しも使用してない日本の激昂を買つたと思惟される點はス長官の談でなく單に新聞の一般的記述を以て日本外務省が錦州不攻撃を約し間もなく錦州攻撃が開始されし事は米政府をして日本は滿洲併呑の野心を有すとの信念を持つに至らしめんワシントン官邊は事件の當初は單に政府の統制に服さぬ日本軍部の狂氣沙汰ならん暴に過ぎぬとの印象を與へられて居たと述べて居るに過ぎぬと

重大聲明をなしたるは日米兩國現在の親善關係に鑑み極めて憂慮さるべき空氣の釀成するを憂ふるものであるがスチムソン氏は果して右の如き聲明をなせるや否やと訊したるに對し

スチムソン氏は 記者團より日本の錦州攻擊につき質問されたので余は二十三日駐日大使に幣原外相と會見し「滿洲方面に於ける日本軍司令官が錦州方面に於ける支那兵攻擊を企圖して居るが如き新聞情報があるが右は眞實か確められ度し」と訓令し同時にフォーブス大使をして「余は斯る情報を信ぜざるものなり」と云ふ事を傳言せしめた處幣原外相はフォーブス大使に對し錦州に對しては軍事行動を起さぬ樣外相、陸相、參謀總長間に意見一致し此の旨本庄軍司令官に對し訓令を發したるを確言した、從つて右確言に依り余は今日本軍の錦州進擊に關する情報は了解に苦しむとのみ述べ之れ以上記者團に國務當局として責任ある言をなせる事實なしと釋明したと

出淵大使へのス氏の釋明

【東京二十九日發】外務省は出淵大使に電命しスチムソン長官聲明問題調査を行はせた處二十九日午後一時左の如く公電があつた
出淵大使は スチムソン氏の如き重要位置にある者が斯く

激戰の跡（下）繞陽河驛々名標識にある敵の砲彈痕（×印）（上）敵兵自ら爆破した鐵橋（繞陽附近）

次第に失墜する蔣・張の聲望

馬占山は今尚大した人氣

上海にて 日森特派員

上海、南京方面では吾々の眼で見ると正氣の沙汰とは思へぬ程の馬占山熱が高く大規模な馬占山援助金募集に至つては吾々を更に驚かす、廿日まで市商會に集つた援助金が四萬元、本格的に各同業會よりの豫約寄附金が五十萬元、上海學生團によつて集められたものが廿一日まで廿萬元、各工會から三千元、銀行界が十九日までに十萬元、南京代表大會の代表達が十九日に五千元、廣東學生の手で二萬元、等々二十一日まで判明せるものだけで優に八十萬元に上り、此調子で行けば全國で百五十萬元位は近日中に集るだらうとは噂の樣な事實だ

◇

馬占山は何が故にかくも人氣者になつた？その理由として申報の社說を借れば
九月十八日吾武裝將士は何等の抵抗も試みず總退却をなし、日本軍をして無人の境を行くが如く侵入せしめた、之は吾武人の最も卑怯にして且つ國土防衛の責任を放棄せるもの武人の恥辱之より大なるはなし、かの馬占山が吾全國民衆の絶大なる尊敬と擁護を受け婦女子に至るまで之を崇拜する所以のものは一に彼が國土防衛の責任を盡したからである
といふ譯であるらしいが、馬占山將軍は日露戰爭當時の吾乃木將軍と同樣に、一般民衆から全く軍神あつかいにされてゐる

◇

馬占山が人氣を博したのは嫩江の役で日本軍を擊退し、次いで三戰三勝、五戰五勝といふが如きお目出たい消息が傳はつて以來であるが、時恰も上海方面の學生團においては義勇軍を組織して出征しやうと意氣込んでゐた折柄とて、勇將馬占山が血に燃える若き青年男女の意を得たことは無理もない、卽ち中國には英雄なきかとまで口惜がつてゐた矢先、馬占山の孤軍奮鬪の消息が如何に彼等の血を沸かしたであらうことは想像に難くない

◇

馬占山援助の寄附金募集は十七日學生聯合軍の決議によるものであるが十八日から上海全市の學生は上は大學から下は小學校に至るまで、三日間全休で數萬の學生により行はれた、卽ち男女學生等は三々伍々隊を組み、街路隈なく繩を張つて寄附の强制をなす外、各會社、銀行、旅館は固より、各戸々別に訪問による强制寄附を行つた、彼等のやり口はなかなか辛辣で、寄附を拒むものがあれば、國賊だと罵り或は毆打する等の暴擧をまで敢てなしてゐる、一例を擧げると丁正鋒なる一辯護士は或料理屋で酒宴中、寄附募集の學生と口論の末、學生から散々毆打され工部局巡捕に危ふく助けられたといふ話がある、寄附金募集は男學生より女學生の方が成績好く、平均男學生の倍額を上げてゐる、彼等は野蠻然として街路を徨ふてゐるが、間違へて日本人にまで强制する

◇

寄附金募集は御本尊の馬占山が既に失脚した今日中止されるかと思ひの外、彼等はその意外の成績に調子に乘り、若し馬占山が行方不明になり、送金が出來ない場合は更に第二の馬占山の出現を待つて送金することを決議し、最初の三日間の休課を更に無期延期し、募金を續行することになつた、同時に巨額の募金を得た彼等は、何とかして之を使つて見たいとの慾望を起し、各大學の抗日救國聯合會は義勇會及救護隊を組織して黑龍江へ向つて出征するとの決議をなした
卽ち出征とはまつかな噓で一學生の說によると
どうせ冬休みまで授業はないし北平、天津方面まで遊びに出かけ、張學良あたりに面會して御馳走になるつもりだ
さうである、又二十二日には上海各大學生代表が南京に赴き、東三省問題の責任問題を提げ政府を困らせる計畫が立てられてゐる

◇

馬占山が「不怕將軍」と呼ばれ、軍神と稱せられる反面に張學良と蔣介石の人氣が學生仲間に著るしく惡くなつて來た、蔣介石が北上して失地を回收するとの豪語せねばならなくなつたのも裏面においてかうした事情の存することが一つの原因らしい、一方南京の學生連は懲罰隊なるものを組織し、公務員にして夜間各種の娛樂場に出入するものを一々取調べ、或は公用自動車を私用に便じてゐるもの等々を一々捉へては、强制的に馬占山將軍への寄附に應ぜしめてゐるが、公私洗滌してゐる黨政各機關の者達は流石之には大恐慌を來してゐるらしい、殊に現在南京に集合してゐる第四次全國代表大會各代表の身邊を蚤取り眼で監視してゐる爲めに、各代表は學生懲罰隊の取締要求すら提出してゐる有樣であるが、學生等が斯る越權行爲を敢てするのも結局は腐敗政治に對する一般民衆の激昂の一端を表現するものに外ならないであらう、卽ち結局は蔣介石が上海に在る廣東代表の汪兆銘、胡漢民、鄒魯等が冷やかな蔣介石の行動を監視してゐるのと同時に、この學生等の示威的面當的な行動は蔣に取つて可なり迷惑らしく見える

護國祈願祭擧行

來る十二月六日大連神社にて

滿蒙の重大時局に際し吾社は國家の武運長久と安泰を祈願するため左記により護國祈願祭を擧行します、市內各團體は奮つて此擧に賛同され全大連市民協力一致し祈願されん事を希望す

祈願祭 十二月六日（第一日曜日）午前九時大連神社に於て

市內行進 式後各參加者は市內を行進し忠靈塔參拜解散す
市內行進には各自團旗を翳し村岡樂童氏作詩作曲『奮ひ立つべき時は來ぬ』を合唱す

參加申込 團體及個人の參加申込は滿洲日報社（電六三四八番）受付、期日は五日正午迄
參加者には國旗及歌詞の印刷物を差上げます

主催 滿洲日報社

學良の命令で學銘が保安隊に射擊續行を命ず

【天津廿九日發】香椎司令官の要求第一項たる敵對行動の中止に對し王樹常は其の事實なしと强辯し爾來幾度か警告を與へたに拘らず支那兵の發砲は更に停止されず我軍でも止むなく局部的に應射して居る然し得たる報告によれば王の態度は比較的穩健だが張學良の命を含んだ張學銘が保安隊に命じ射擊を續行させて居るとの事で何れにしても支那軍が射擊を止めない事實は事態を益々惡化させるもので局面は愈々險惡を加へんとして居る

增兵決行の報に邦人勇氣百倍

血迷へる支那軍隊が列國記者を狙擊

【天津特電二十九日發】暴虐なる支那軍は今朝又復砲擊し來りわが軍應戰し沈默せしめたるも敵は防禦を新にすると共に續々增兵しつゝあり、居住邦人は政府の增兵決行の報を聞き勇氣百倍し軍當局に徹底的討伐を懇願し斷じて排日侮日の再現を許さゞることを期しつゝあり、日本租界居住の支那人は一部の者に脅迫されて他の租界に逃亡しつゝあり、支那側の惡宣傳益々甚だしく日本側の射擊のみを傳へる爲め今朝列國記者團は現場視察したところ支那側に狙擊され狼狽して支那側の非を認め引揚た

北支那危殆に瀕せばわが軍は自衛行動

注目されるブリアン議長に宛た芳澤代表の書翰

【パリ廿八日發】芳澤代表は本日ブリアン議長に左のごとき書翰を送つた
日本軍は自衛行動以外支那側に對し敵對行動をなすものでない
日本政府は錦州地方に於て日支……

……本軍も同地方に立ちいらないであらう、然しながら北支那に於ける居留日本臣民の生命財產の安全及び同地方駐屯の日本軍の安全が危險にさらさるゝ場合にはこの限りではない、
右芳澤代表の書翰中特に北支那と明示せるは日本の自衛的行動範圍が滿洲だけにとゞまらざる事を語るものとして注目されて居る

英軍を通じて妥協的態度

支那軍隊頗る不統一 根本的解決を要す

【天津廿九日發】支那側は昨日英國軍當局を通じて妥協的態度に出てたが部下軍隊は遠慮なく我陣地に終日終夜猛射する狀態であるので斯くの如きでは根底から解決をつけざる限り到底此の局面の打開は困難である

紛爭の發生を極力避けん事を希望して居る、支那軍隊が錦州地方より山海關以西に撤退せば日

天津支那街の共同管理を

支那側から各領事に要請 各國共相手にせず

【北平二十九日發】支那側は昨日各國領事に對し日本軍の和平斡旋を求め支那街全部を一時各國共同管理されたしと申込んだが支那の不信に懲りた各國は殆ど相手にしなかつた

外人を雇傭し逆宣傳に努む

【天津二十九日發】北寧鐵路局長高紀毅は對日關係重大化に鑑み自國の立場を有利に導き交涉の材料を得んがため鐵路局に外人の職員を事務所長としてステル及シャレーの兩名を雇傭し種々畫策して歐米方面に逆宣傳をなさんとしてゐる

日軍の撤退狀況と支那側の保護程度

理事會決議案中挿入する事に秘密會議で一致す

【パリ二十八日發】本日午後四時四十分より開催された十二ヶ國理事會秘密會議では理事會決議案中に調査委員會は滿洲到着後、直にその時までに如何なる程度の撤退が進捗したか又日本人保護のために支那側がとつた保護手段が如何なる程度に滿足すべきものであるかを報告すべしとの一句を挿入する事に意見一致をみたと云はれてゐる、尚調査委員會の擴大問題も審議され更に錦州にある中立國のオブザーバーも一委員會を構成すべしとの提案もあつたが一蹴されたと、二十九日の起草委員會は芳澤大使と會見し決議案の內容を討議したる後、非公開會議が開かれ決議案が採擇される事確實とみられる

關稅收入を擔保に英支の新借款

金額は一千萬磅、期限は廿五年 紡績機械引渡希望

國民政府は英國政府の諒解の下に本年七月完濟した千八百九十五年露、佛借款及び明年四月に滿期さるべき千八百九十六年の英、佛借款に充當されたる關稅收入を擔保として金額千萬ポンド、期限二十五年の借款を提唱し、この借款により實業部の要求する各種機械特に紡績機械にて引渡す希望條件の下に過般英國公使と同道し南下せる英國財團代表と交涉を進めてゐる、この事實を以て觀るに長江一帶に於ける英國紡績事業發展の第一步に至つたわけである【奉天電話】

正金の再現送

但しこれで打切りか

【東京二十九日發】正金銀行は廿五日までに二億五千九百萬圓の正貨を積出したが十二月には二千五百萬圓位の現送ある模樣でこれで打切りとなすと觀らる

蛟河一帶また危險に瀕す

吉林よりの來電によれば吉敦線蛟河站附近に機關銃を有する支那敗殘兵約二百名來襲して掠奪暴行等を敢行し同地鮮農約八百名は蛟河方面に避難中で蛟河一帶もまた危險に瀕せり【奉天電話】

參謀本部に參集凝議す

【東京特電二十九日發】金谷參謀總長は二十九日、日曜にも拘らず午前九時登廳建川、梅津、橋本各部長及び近く關東軍參謀長として渡滿內定せる田代少將の首腦部參集、問題のスチムソン聲明及び錦州並に天津方面を中心とせる關東軍司令部よりの其後の情勢等に基き今後軍令部の方針に就き二時間半凝議を遂げ十一時卅分散會した

馬占山の敗殘兵が海倫附近に集結

物資漁りに住民恐慌

ハルビン來電によれば馬占山軍の敗殘兵約二千六百名及び山砲野砲合計四十餘門は目下海倫、林甸附近に駐屯し物資の調達中で同地居住民は大恐慌を來してゐると【奉天電話】

海軍次官更迭內定

後任左近司中將

【東京二十九日發】海軍次官小林躋造中將の引退は愈々具體化し十二月一日附を以て依願免本官となり後任は左近司政三中將が任命されることとなつた

金谷參謀總長近く引退

後任は武藤總監

【東京二十九日發】金谷參謀總長は健康その他種々の事情に依り時局の一段落を待ち（多分來月末の定期異動）軍事參議官に補せられる後任參謀總長には教育總監武藤信義大將が有力で教育總監の後任には軍事參議官菱刈隆大將が最も有力視されてゐる

多門師團引返

多門師團長以下第○師團司令部及び步兵第○○聯隊の一部隊は二十九日午前十時四十五分遼陽に引返した【遼陽電話】

邦人避難狀態

【天津特電二十八日發】廿八日午後九時における邦人の避難狀態は

場所	人數
日本小學校	百六十五名
日本人幼稚園	八十八名
妙法寺	四十名
其他	三十四名
計	三百二十七名

社説

米國々務省態度の不可解
不穏な聲明と其釋明的聲明

[illegible]

…に對しても尊重し、未だ主張するに至らざる内心の事をもよく忖度する趣があつた。此點は國際聯盟理事會が、兎もすれば公平を缺いて、只日本を抑へるを目的と爲すが如き態度あるに比して、頗る目立つた對照を示して居た。然るに二十七日の聲明に至つては、實に掌を反すが如く、其の態度の變化を示して居る。

◇

即ち其内容には、米國政府は始めから、日本政府を疑惑の目を以て見て居たとある。斯くの如きは實に非友誼的心事を表明するの甚だしきもので、且つ外交的辭句としても極めて無禮なものである。畢竟日本を侮辱するの甚だしきものである。又日本政府は、日本軍が滿洲の都市を攻撃する毎に遺憾の意を表し今後之れを繰返さゞる可きを誓つたとある。此れは、日本軍が支那の都市を侵略するを其目的として行動して居る事を、前提となすによりて出て來る言葉である。抑も日本の軍事行動は全然自衛行爲である。日本政府が假りにも、支那の都市を攻撃せんとして攻撃するのだとの意味に解される事を云ふ筈がない。しかも長官の聲明中に此言あるは、日本政府を誣ふるの甚しきものである。殊に此點に於て、日本の文武兩當局が米國に對して確約して居るとか、又日本軍の錦州進撃説を手にして日本に警告を與へた時、幣原外相は、日本は錦州へ進撃する意思なしと回答したともある。而して此等の日本方面の言明は、すべて其場限りの虚言たるに過ぎない様な意味になつて居る。

◇

此等の言葉の中には、日本の眞意を諒解しない心持が隨處に表はれて居る。日本軍は誰を相手にして戰爭して居るといふわけではない。故に何處に對しても進撃といふ事はあり得ない。幣原外相又は其他の誰かゞ、日本軍が錦州に進撃する意思なしと云つた所で、虚言でも何でもない。但し意思はなくても、挑發されるならば、相當の對應策を講ぜればならぬ事は云ふまでもない。日本は目下に於て、對支戰爭を考へて居ない。故に何處に對しても攻撃の計畫はない只事實に應じて進みもすれば退きもする。それから長官の聲明の中に「政府の完全な統制の下に置かれてゐない日本軍部の一部が、やり過ぎたのだとの印象を得た」ともある。斯くの如きは實に日本國家を侮辱するの甚だしき言である。聞き捨てならぬ事として、軍部と政府とが憤激するのも當然である。

◇

此聲明は文書によりて發表されて居ない。新聞記者に對して口述したものゝ如くである。隨つて外交文書のやうな周到な用意を缺いた點がある。或は筆記の不用意もありはしないかとも思はれる。併しながら米國では重要な聲明を口述にて行ふ事もあり又新聞記者に對する表明を以て各國に對する通牒の代りにする事もあるなど、頗る意外な事をやるのが米國式である。又

ここさらに、[illegible]

…ない。凡そ誰にも[illegible]ふつた事を云つたり、[illegible]するのが米國式で、從前と反[illegible]こだはらずして、行き掛[illegible]行動に出たり、前議を平氣[illegible]消したりする事も米國式で[illegible]吾人は固より米國の一舉[illegible]によりて一喜一憂すべきで[illegible]

關東廳の行政整理
明春二、三月頃斷行か

[illegible]二月中旬頃を期して斷行さるゝものと豫想され各官署所學校内では期日切迫と共に「どうせやるなら早い方がいゝ」「來年から新規蒔直しだ」「もう覺悟の前だ」等々種々の取沙汰が交されてゐるが、

[illegible]度末までの分まで殘つてゐるしこんな時局柄歳末に際してやめてくれとも云へぬと言つたわけで年内の整理は困難とされ、明春二月乃至三月頃になるものと見られてゐる

日本軍による東三省平定
われく中國民の幸福

日本軍のチチハル占據に對する北滿支那人の感想を聞くに

▲チチハル及びハルビンの商人は黒軍潰滅し東三省全部平定され中國官憲が日本に監督される事になるは眞に一般人民の幸福である、奉天、吉林は既に長官の命により損害を蒙らず之に對して中國の兵が他國を占領せんか決して斯かる行爲には出でないであらう、この上は商民は當事者の何人を問はず唯一切の不法税は既に撤廢されたるが如きは間接に吾々人民が日本より受ける利益で、しかも一般人民には日平和の二字を望むのみ、黒龍江省も一日も早く吉林、奉天の如くなるを希望す

▲一般民衆は東三省の平定は一般民衆の幸福なり今後は馬賊も日本軍に掃蕩され又中國官吏軍人の壓制を受くることなく日本が永遠に我が官吏を監督すれば東三省も眞に和平を期することが出來るであらう【奉天電話】

蒙古喇嘛教徒の我戰死者追悼會
きのふ奉天忠靈塔前で執行

蒙古喇嘛教徒の日本軍戰死者追悼會は二十九日午後一時より奉天忠靈塔前において各宗教團體多數參列し盛大に執行された【奉天電話】

日本人を敵視した張學良の侮日政策
六、利權回收、文化侵防止

支那の滿洲に於ける利權回收は極めて計畫的なもので先づ合辦事業に關しては回收の前提として本年一月中央政府行政院から省政府宛左の調査を命じて來た

一、中外合辦に係る鑛山鐵路の名稱、所在地、投資年額、利益金の多寡及び事業の状況

二、中外合辦鑛山及び鐵道の中外各方面の使用人並に職員數、行政權の權限及びその實狀

三、中外合辦鑛山及び鐵道の直に之を回收するも障害なきや

四、中國人民の中外合辦各事業に對する感情如何

又滿鐵回收の準備として中央政府から三月二十三日附附屬地地圖作成方を嚴命し

一、原有地名稱及び現在日本が改めたる名稱

二、面積及び周圍の關係

三、租借地に在る森林河川及び廟觀寺院、古墳並に人民私有の墓地等の有無等を詳細に記載した地圖を作成し之に説明を附すること

而して右利權回收と同時に左の法權回收を實行することゝしてゐる(三月十二日省政府より中央政府に呈請)

一、即時領事裁判權を撤廢すること

二、租界、租借地、鐵道附屬地を回收すること

三、内河航行權及び海關貿易權を回收すること

四、各國の在華駐屯兵を撤退せしむること

五、完全に關税自主を主張すること

六、電信權を回收すること

最後の滿鐵附屬地における郵政權回收の爲めには先づ國民が日本郵便局を利用せざるやう一般民衆に布告したが更に實效がなく自國の鐵道までが公用電報を外國電線及滿鐵電線を利用してゐるのは不届だと再三地方官憲に取締り訓令を出してゐる、然し支那の郵便電信が不正確であることと一々檢査することゝ、料金が高いことも等でさつぱり實行されてゐない、之等利法權回收については國内丈けの運動だけでは駄目だとあつて遼寧外交特派辦事處が各縣政府に對し商工、教育機關中から人物四名づゝを嚴選させて國際宣傳委員を命ずることゝなつてゐるが實現せずに終つたらしい

六、所謂文化侵略については屢々取締命令を出してゐるが一向實行されてゐないのは支那式である、先づ滿鐵公學校入學阻止については子弟のある各戸について調査勸告し當局に對しては阻止成績に依つて賞罰まで決めてゐるがそれでも親達は秘密に公學校入學の手續をとつてしまふので頗る焦慮してゐる政府は「このまゝ放任せば中國青年に日本魂を造成するに至る」と盛んに宣傳をしてゐるが却て民衆の方が頭が良い、日本病院への入院禁止も同樣效果がない、言論機關について頗る效果薄弱で盛京時報の配達阻止を始め盛京、大北泰東、邦人經營滿洲各新聞の購讀禁止につき各縣長に通令してゐるが之亦實行されてゐない、又某通信社の記事なども掲載禁止方各社に通達してあるが通信網を持たない純支那側新聞社はやはり依然該通信を掲げてゐる模樣である

野砲兵隊長春到着
市民の歡迎歡待

二十九日朝長春に到着の上待機中である野砲隊は市内民家に宿營と決定、市民は頗る歡迎歡待してゐる、なほ一兩日中には第〇〇旅團司令部も引揚げる筈【長春電話】

增兵斷行の要望を決議
廿九日長春座で開催した長春の市民大會

長春時局後援會では二十九日午前九時より地方事務所に緊急會議を開催、午後一時より長春座において市民大會を開催、錦州及び天津方面の現狀に鑑み至急滿洲及び北支那に增兵を斷行し軍事行動の徹底を望む旨の決議文を内地政府當路及び軍部、貴衆兩議院、各政黨其の他に打電することゝなつた【長春電話】

慰問金の募集開始
東京の經濟團體

【東京二十九日發】東京商工會議所、工業倶樂部、經濟聯盟、日華實業協會發起のもとに今回在滿洲軍慰問金を募集する事になり二十八日工業倶樂部に發起人會を開催種々手筈を定めたが流石に大所とて三井三菱の五萬圓を始めとしてたちまち十三萬六千二百圓の應募があつた

全國商工會議所支那問題常設委員會
廿八日東京で開かる

【東京特電二十九日發】全國商工會議所支那問題常設委員會は二十八日午後二時より東京商工會議所に開會、大連田村副會頭、篠崎同書記長、奉天庵谷會頭、野添同書記長、ハルビン加藤會頭等内地委員と共に出席、滿洲聯合會提出の農產物輸入關税引上げ中止方を政府に請願の件を原案通り可決し、次に同上滿鐵及び滿洲商工界建直しに關し政府に要請の件は鐵道運賃、撫順炭地賣値段の引上げをなし、滿鐵の一般株主に對する配當率を引下げ、政府の持株に對する配當を一時中止してこの資金を滿洲開發に充當する事更に滿鐵經營上の合理化を計ることを可決し、更に支那における邦人產業保證制度制定に關する建議案は留保する

滿鐵沿線を脅かす支那兵の別働隊
廿九日現在約三萬餘名

滿鐵沿線及びその西方地區に於ける敵の別働隊の兵力は二十九日現在一萬九千名でさらに義勇軍約五千名を組織中であるまた純馬賊は目下奉天全省において約五千名にたつしてゐると【奉天電話】

歲入豫算原案けふ閣議に提出

【東京廿九日發】井上藏相は廿八日午後四時から前日に引續き藏相官邸に於いて歲入豫算に關する大藏省議を開き約一億三千萬圓の歲入缺陷に對する補塡方法大藏省原案を左の如く決定同七時半散會した

▲增税約四千萬圓

一、所得税　第一、二、三種を通じ全般的に一割五分程度の引上げ

二、相續税　税制整理案による累進率の引上げ

三、資本利子税　税率の引上げ

四、ビール税　一石二十五圓を五圓引上げ

五、ガソリン税(新設)一ガロンにつき五錢總額七百五十萬圓内四百萬圓は地方へ交附

▲公債約九千萬圓

一、赤字補塡公債　六百五十萬圓

二、震災善後公債　七百六十萬圓

三、電話事業公債　千七百五十萬圓

斯くて大藏省原案は大綱の決定を見たので藏相は三十日の閣議に提出、同日午後與黨幹部に説明諒解を求め四日の閣議まで確定する豫定である

大連行の電報料
三倍に値上げ

【大連特電二十九日發】鐵道より報は大連行料金三倍で反日を示す

感激の裡に迎へた野砲隊
全市民で驛頭を埋む
長春で當分待機す

江橋より鄭家屯守備の任にあつた混成第〇〇旅團の野砲第〇中隊は宿里中隊長統率の下に鄭家屯發南下鐵嶺に待機中であつたが二十九日午前七時半着臨時列車で長春に到着した、嚴冬をおかして席の溫まる暇もなく移動する我が皇軍を歡迎すべく長春市民は男女老若全市を擧げて驛ホームを埋め四戶在鄉分會長の發聲で破れんばかりの萬歲を叫んだが萬歲を叫ぶ人も叫ばれる人も感極まつて涙を見せぬものはないといふシーンであつたなほ右野砲隊は當分長春において待機するものの如くである【長春電話】

ことゝなり午後四時半散會した、なほ大連篠崎、奉天野添兩書記長は三十日夜東京商工獎勵館に於て一般實業家と會見滿洲事變と今後の經濟的建設につき意見の交換をなす筈

八相

投書歡迎　五十行以内　中傷はさらす

嗚呼婦人雜誌よ
櫻霞山人

◇一在鄉軍人の大連人士に對する警告は原則としては一應御尤もと思ふが併しダンスホールやカフエー出入をやめよと云ふのはチト極端かと思はれる、そんな事云つたら活動も遊廓も料亭も麻雀も碁將棋さては謠曲長唄洋樂尺八更に飲酒も喫煙もさいふ事に迄進まれば不公平にならう私個人としてはもとよりカフエー、ダンスホール大嫌ひだが併しアレでも人間生活上の一存在として或る動を持つて居るのであるから一部不眞面目な遊蕩の片例を以て一般的に論じ去るのは如何かと思ふ。

◇それよりも私共の怪訝に堪へざるは内地發行各婦人雜誌の記事である、今や我國は内に政治經濟思想國難あり、外は對支對聯盟の大事に直面し、新聞雜誌その他團體は言論又文章を以て警告し、筆を禿にして研究し絶叫するの時、獨り婦人の讀物のみ、美容、服裝の流行を傳へ、戀愛、媚態の研究などツマラヌ記事に全編を埋むるは何ぞや。

◇男子は渾身の熱血を沸騰させて國事に肝膽を砕くの時、女達は何等時局に關心なくして可なりとするか、それでも男女同權を叫び婦權擴張を強要するの資格ありや如何、思ふに此婦人界の傾向こそ眞に痛心慨嘆すべきものにして一部片々たる遊蕩兒共の貧しきポケットを空にしてウロツキ廻る如き蚊の齒牙に掛くるに足らんや、世間愛國の婦淑女たち以て如何とす。

張學良下野せば共同國難に當る
蔣介石氏の提議 對して山西側より回答す

【北平二十八日發】蔣介石氏は山西側に對し自分も近く北上するから山西軍も北平に出で國難に當られたいと提議せるに對し、山西側は張學良が滿洲を奪はれ信望を失墜せるに拘らず尚その地位に留まるは奇怪至極である、彼さへ下野せば直に共同動作を執るべしと回答した

黑龍江新政權の樹立いまだ遠し
省内各重要機關の要人なほ歸省せず

【チチハル特電二十九日發】衞兵六百名を率ゐ來齊した張景惠氏代表英順氏は目下黑龍江省官銀號に陣取つて新政權樹立の準備を進めてゐるが、省内各重要機關の要人等が事變直後何れも避難し未だ歸省しないため擧省一致の形式による新政權樹立の手續には未だ相當の時日を要するものとみられてゐる

齊克洮昂連絡し特產界活況
支那商民買付に大活動

【チチハル特電二十九日發】我軍の師團司令部撤退後のチチハルは頗る淋しい感を與へてゐるが、齊克、洮昂兩鐵道の連絡が完成したので支那側商民は特產買付に大活動を開始し大豆の出廻り期を控へ同地方一帶に商況頗る活氣を呈して來た

全滿刀劍大會
盛況裡にきのふ終る

全滿刀劍大會最後の二十九日は午後二時から小關範士の身形刀流拔刀法の試斬あり、双引刀をもつて一刀のもとに試斬した光景は眞に迫り來觀者はいづれも固唾を吞んで緊張した、しかも某氏が双のある大刀をもつて試斬をしたところ刀は曲り試輪に双も立たないといふ有樣で小關範士の腕の冴えに並居る人々は感嘆した、なほ今回の大會に出品された名刀三百廿口を加島勘氏が一々精細に鑑定した結果、内藤四郎氏の粟田口藤四郎八寸三分は六百五十年前のもの、坂井武雄氏の末備前長光は四百年、相生由太郎氏の金剛兵衞盛高はいづれも名刀と賞され、村井啓太郎氏の備中貞次の鞘拵へは本會の出品中優秀とされ、筒井氏の短刀鞘作もまた非常に美事なものであると賞された、加島勘氏はなほ滯三日滯在し希望者の鑑定に應ずる由で氏の鑑定は本阿彌に以上といはれてゐる

大聖寺で祈禱

市内眞言宗高野山大聖寺では信徒相寄り千卷心經を捧讀し全滿の警察官の身體安全災延命を祈禱し御守護二千五百枚、御供物二千五百個を贈呈した

人事

▲小澤太兵衞氏(時局後援會代表)替へ等の手傳ひをなすと倚同會代表三浦よし子夫人は沿線各地出動中の軍警部隊及び傷病兵慰問のため二十九日夜行にて我澤主事と共に奥地に出發した

▲小澤太兵衞氏(時局後援會代表)上海在支日本人大會出席のため二十九日出帆奉天丸にて上海へ

▲津村雅量師(本派本願寺支那開教總長)鐵嶺忠魂碑除幕式參列並負傷兵慰問の爲廿八日同地へ

チチハル激戰戰死者慰靈祭
公主嶺にて

チチハルの激戰において名譽の戰死を遂げた公主嶺騎兵第二聯隊吉澤中尉以下五名の慰靈祭を一日午後一時より小學校の講堂において盛大に執行する【公主嶺電話】

篤志看護婦人會旅順支部活動

日本赤十字篤志看護婦人會旅順支部では二十八日旅順衞戍病院に輸送されて來た傷兵士等の慰問看護手傳ひの爲め同夜三浦内務局長夫人以下幹部十一名を病院に派遣したほか午後も每日數名宛派遣

大觀小觀

陸軍省への慰問金二十八日までに十七萬三千圓、すべて赤誠の結晶、まだく集まる▲滿鐵沿線の守備隊に加はる某聯隊初年兵、二十九日午後一時大連上陸▲此れと入れ替はりに御用船〇〇丸に乘つて天津に赴く某聯隊、何れも國家の爲めに若鐵に赴く首途熱誠こめた大連市民の歡送迎神に威風堂々海から陸へ、陸から海へ▲内地では勞働階級と各大學々生が、非常に眞劍に滿蒙ノ事を憂へて居るとは青年聯盟代表のお土產談、心強い事だ▲二十八日の在滿日本人事局後援會緊急臨時委員會の決議文電請、二十九日夜歌舞伎座の非常市民大會、何れも熱誠の極▲事變勃發以來、在鄉軍人會の活動、さては言ふまでもない各團體、各婦人會は云はずもがな各團體、各婦人會の活動、さては十二月六日の我社の護國祈願祭、地元の對時局勇躍は益々熾烈に赴く。

ゆふべの非常市民大會

關東軍の自衞的關外出動を絕叫す

氣勢を擧げたゆふべ歌舞伎座の非常大連市民大會

在滿日本人時局後援會主催の非常市民大會は廿九日午後六時より歌舞伎座において開催された、これよりさき憂國の市民は粹々と押しかけ定刻前すでに場內滿員の盛況を呈し立錐の餘地なきまでに至り熱狂裡に大內市會議長開會の辭を述べ、次いで脇屋次郞氏左記宣言決議文を朗讀、小川會長これを滿場に諮つて贊成を得政府要路に打電し以て指導鞭撻することを誓ひ引續き演說會に移り左記諸士交々起つて幣原外交の軟弱を攻擊し錦州方面我軍の撤兵に關し支那兵の增加してわが在滿同胞の生命財產危機に瀕したる際出兵は緊急を要すと何れも絕叫し聽衆を極度に感動せしめ、小川市長の發聲で日本帝國萬歲を三唱し同九時半散會した

小川順之助、中世古淸彌、葛井新助、仙波久良、長谷川良之助、森宜次郞、恩田熊吉郞、相川米太郞、吉田親政、今村貫一、福田顯四郞、鯉沼忍、石本鏆太郞

實性確成

宣言

皇軍の自衞的發動は實に滿洲に於ける我が既得權益を確保し更に在住同胞の生命財產を保護し更に三千萬東北民衆の康寧を招來せんとするにあり、然るに張學良麾下の軍隊は錦州一帶の地に蟠居し以て滿洲の治安を攪亂せんとす從て滿洲に於ける新政權の樹立は常に脅威せられつゝあり此際機を失せば滿洲は再び舊態に歸し在滿同胞は極度の不安に陷らんとす依て速かに山海關以東に於ける支那軍隊を掃蕩するために關東軍をして自衞的出動の擧に出でしめん事を要望す、右非常市民大會の開催に當りて宣言す

決議事項

一、時局の重大性に鑑み帝國は滿洲に於ける治安維持の實に當るべし

二、滿洲治安維持の爲め山海關以東に於ける支那軍隊を擊沒すべし

戰歿者追悼會

支那を舞臺として國事に奔走した……激勵した

故人志士の供養を目的に設けられてる鎭海觀音大連分會では廿九日午前十一時から市內妙心寺において戰歿者追悼會を催したが來會者は森本地方法院長、川島浪速、谷信近、田岡正樹氏等五十餘名、圓山老師の回向に次で一同燒香、午餐を共にして午後二時散會

關東廳警察官 慰問の運動

東京で大々的に開始

【東京特電二十九日發】滿洲の第一線に立つ軍部と協力、同胞百二十萬の保護に當る我が關東廳警察官に對し、今回脫兎乘合自動車會社長佐藤榮志氏が理事長となり淺見法學博士、田賀陸軍少將、岩本警察官慰問會なるものを組織した、この擧に對し東京各大學、慰問會田賀少將の明德學園、平沼博士の日本健兒團も協力しビラ二十萬枚を全市にバラ撒き慰問金を募集することゝなつたが各會社、官衙、銀行等に在滿警官慰問袋一千五百枚を配布、直接關東廳へ發送を依賴した、また太田關東長官は手拭二千五百枚を寄贈し此の運動を大いに……

皇軍活動の映畫『滿蒙破邪行』

六ケ國武官に觀覽させ好評

本社で一般にも公開

今回滿洲事變に關する皇軍の動靜の正しき報道を示す滿鐵弘報係撮影の映畫「滿蒙破邪行」は二十八日午前十一時奉天ヤマトホテルに於て目下來奉中の英、米、佛、伊、ポーランド、アルゼンチンの六ケ國ほかの武官に對し南方本部案內役、諫山少佐の說明で觀覽せしめたが非常な好評を博した奉天本社では來る三日在鄕軍人及警察官慰問のため警察署講堂に於て、一般には滿鐵社員俱樂部に於て公開の筈である【奉天電話】

時局獻金募集の一

大演藝會を開催

十二月四日夜協和會館で

主催 滿日婦人團

滿日婦人團ではこの重大時局に際し獻金募集を企圖し既に廿八九兩日に亙り街頭に立つて行人の獻金を求めたが之と同じ目的から來る十二月四日午後六時より協和會館に於て時局獻金募集の大演藝會を開催することに決定した、プログラムは和洋音樂、舞踊等三種にわたり左の如く

出演者

は大連在住の斯道の權威者を網羅してゐる

▲ヴアイオリン獨奏　遠藤郁子夫人
▲マンドリン獨奏　伊藤十五郞氏
カラーチエ作「第一前奏曲」伊藤十五郞作「滿洲狂想曲」
「ペリオのファンタジー」
▲ピアノ聯彈　土井文子孃　同 博子孃
ベートーベン第五シンフォニー第一、二樂章
▲ソプラノ、ソロ　渡邊良子孃
シユーベルト作エルケーニヒ「かやの木山」「ちんちん千鳥」
▲獨唱　松原しづ子孃
▲合唱　題未定　彌生高女生三十名
▲歌謠曲舞踊　杵屋六葉師
「山の枇杷」「鳰の浮巢」「狐の嫁入」
▲童謠舞踊　銀鈴少女會
(イ)カラマイカ　佐藤須美子、藏掛淸子
(ロ)秋に寄す　渡邊富美子、山內睦榮、高田喜美子、佐志須美子
(ハ)キヤラメル　高田早苗
(ニ)鉾をおさめて　小山雅子
▲三曲合奏「櫻川」
尺八　辻泰山、草崎圭山、小笠原米山
三絃　福永大勾當、福壽勾當
箏　木次初榮、小笠原松子
▲長唄「竹生島」
唄　安藤のぼる、鈴木一郞、本鄕一夫
三味線　中村愛子、中川淸子、仙波まさ子
▲狂言「末廣狩」神明高女生、淺原俊子、新妻光子、渡部秀子
▲舞踊「出船の港」上野露子孃
▲薩摩琵琶「臺灣入」宮本夫人
▲筑前琵琶「伊井大老」山本博子夫人

右出演者はいづれも婦人團のこの企てに多大の贊意を寄せられ多大の犧牲を拂つて奉仕的に無料出演の快諾をうけたもので、多忙中の暇を割き目下

猛練習

中である、入場料は五十錢均一とし滿日婦人團員一同が極力その賣捌きに當るが滿鐵社員俱樂部ではこの催しに贊成し後援することになつてゐる

『お國の爲に働かせて下さい』

健氣な逢廊の三女性

滿日婦人團の獻金募集好成績

滿日婦人團員の街頭獻金募集第二日の二十九日は朝來雲低くたれて北風や、冷たかつたが前日の好成績に勇氣を得た團員たちは午前九時頃からぽつぽつ

獻金箱

を携へて街頭に姿を見せた、この日の街頭ははるびん丸の入港や軍隊の送迎のためになかなくの人出で、三千餘名の團員はこの中に立つて懸命に募集につとめた、午後二時頃街頭の人出も大がい散つてしまつたので一同は又前日の浪速町、常盤橋方面に進出したが既にその頃には北風は次第に勢ひを增し寒氣はひしひしと舖道に立つ團員の身邊に迫つて買物に出た家族づれの人々も歸りを急ぐ氣色であつた、しかし熱い

血汐と

勇氣にみちた團員たちは自分の體のひえるのも忘れて日本人と見れば一人ものがすまいと猛烈な募集戰を開始したので、大きな買物の包をかゝえ子供の手を引いたお母さんたちも足をとめてこれに應ずるといふ風であつた、殊に中年を越した二三の團員たちが風にさらされ乍らの募集振りには深く心を動かされて財布の底をはたき出し乍ら丁寧に挨拶をして立去る人が多かつた、かくて五時近く一同打揃つて本社に引揚げたが、この日の獻金總額三百七十五圓二十八錢で前日に比し百十二圓餘の

增收で

あつた、この他に伊太利の銀貨が一つ、獨逸の白銅貨が二つ、上海の一角紙幣が一枚獻金の中に混つてゐた、殊にこの日團員を感動させたのは逢廊の婦人三名が「賤しい商賣はいたしてなりますが、どうか皆さんの御仲間に入れていくらなりとも御國のために働かして下さい」との熱心な申出でに團員一同もその熱い眞心に打たれて快く獻金募集に參加させた、因に第一日の募金二百六十三圓七錢一厘と第二日の分を合すれば總額實に六百三十八圓二十五錢一厘の巨額に上るわけである

在滿鮮人避難民救濟に頭を痛む

朝鮮總督府の面々

【京城特電二十九日發】在滿鮮人避難民救濟のため出張であつた朝鮮總督府の穗積外事課長は二十八日朝歸城直に政務總監室に立て籠り、今井田總監、各局部長等と數時間に亙つて今後の對策に就き協議を重ねたるが氏は語る

避難者も增加して四千名に達してゐるがなほ奧地は兵匪の跳梁で引揚げつゝあるので今後その數は豫測出來ない、從つて今後救濟金がどれほど入用か見當が就かぬ、避難民は着のみ着のまゝで悲慘を極めてゐる、兎に角當分の食糧と寢具を當てがつたが、充分行き亙つてゐないのは洵に遺憾とする、感謝すべきは派遣部隊が一方に戰ひながら救濟に努めて吳れることである、粉や粟などを集めて避難民の救

今後の彼等避難民の問題には當局も非常に頭を痛めてゐる

出動部隊の武運長久を祈る

旅順全市民を擧げて

盛な愛國デーの催し

旅順市民の出動部隊武運長久祈願式及び靑聯支部中心の愛國デーは二十九日正午から白玉山納骨祠前にて擧行、祖國愛に燃ゆる四千名の老幼男女は山頂を埋め町旗、團體旗の林立、小國旗の大波は風速十米餘の南風も寒さを感じない素晴らしい意氣と熱をもつて滿ち立ち、型の如く神官に從つて

莊嚴な

新願式が行はれ永山市長の祈願文朗讀について塚本長官、大谷陸海軍代表、永山市民代表、婦人代表佐野總理部長夫人の玉串奉奠あり心からなる出動軍隊警察官の武運長久、帝國興隆の祈願を終つた、ついで鳥居下に集合せる在旅各團體市民は島田女學校教諭のタクトに從つて君が代を齊唱、斯くて同四十分大國旗、靑聯旗を先頭に喇叭、鼓手のマーチに連れ行進歌を合唱徐々西道を下り新市街を一巡し舊市街を大行進して午後三時ごろ昭和園前大廣場に到着

萬歲を

三唱し解散したがこの日全市各戶には無數の標語警句を記せる傳單を貼布し愛國赤誠を彌が上にも高潮させた（寫眞は祠前の祈願式）

毎日、新聞や號外と地圖と首ッ引き

出動將士の武運長久を祈る

鈴木旅團長の留守宅

【東京特電廿九日發】零下卅度の滿洲の野に轉戰して雄々しくも皇國を守る幾萬の將卒の上に降り注ぐ國民の熱き感謝の念を思ひつゝまさに第〇師團の精銳を率ゐて出征した鈴木混成旅團長の東京市外中野町における留守宅を訪へば千代子夫人は令嬢綾子さん令息英君を傍らにして語る

私共は

三ケ月前まで奉天に居りました宅が、陸軍大學を出て參謀本部支那班に入つたとき本庄軍司令官閣下が支那班長をして居られ、又昔奉天で特務機關長補佐官をして居つた時分本庄閣下は操作課の軍事顧問をして居られました、今度あちらに出動することになつたのも何か深い因緣があるやうに思はれます、實は先だつて內地を出發の際「到るところ

熱誠な

見送りを受けて非常に感激し日露戰の當時よりも盛んな見送りだ、この熱誠な見送りに對しても自分は一命を君國に捧げて、あらん限りの御奉公をする」と手紙で申して居りました、私共は每日新聞や號外と地圖と首引で日本軍の行動を注意し神様の武運長久を祈つて居ります、最近の手紙では「二十日朝奉天着三ケ月ぶりに顏馴染みの奉天市民にも逢ひ感慨無量、黑龍江方面の

戰爭に

參加出來るものと一縷の望をかけて急行したが終に間に合はず將卒一同の落膽筆紙に盡し難い」と御座いました宅は寒さは平氣で滿洲に居ると肥ると言ふ位です、私共は皆が壯健で何の心配もありません、何うか君國のために充分な働きをして下さる樣神佛にお祈りして居ります

なほ鈴木旅團長は日露戰爭の際第八師團の聯隊旗手として出征、黑溝臺の激戰で負傷、追擊し名譽の負傷をした勇敢な武將である【寫眞は留守宅における令孃と夫人で前列左からあや子さん、スミ子さん、和子さん、美枝子さん、後列信子さんと千代子夫人】

南山寮軍を屠り大商見事に優勝

きのふの大連卓球大會

滿洲卓球協會主催本社後援の大連卓球大會は午前に引續き二十九日午後より敷島町靑年會館で續行、優勝候補の中央試驗所、用度、山本運動具店の諸チームそれぞれ敗れ結局大商と南山寮の對戰となつたが大商優勢をかつて南山寮を屠つて優勝し田中協會幹事の手より優勝旗目錄を授與され午後七時三十五分盛會裡に終了した、戰績左の如し

第二回戰

勝		負
▲國際運輸	—	沙河口工場
▲山本運動具店	—	南滿電氣
▲大連商業	—	滿鐵用度
▲南山寮	—	南滿工專

準決勝戰

▲南山寮—國際運輸
田谷3—0弘中、馬淵1—3因藤、田代3—0菊川、友澤1—3宮中、三浦3—0弘中(弟)、谷田3—0因藤、田谷3—1宮中

▲大連商業—山本運動具店
上田2—3相島、廣瀨3—1河田、岩崎3—0上田、橫尾3—1櫻井、片島3—1峰、廣瀨3—1相島

決勝戰

▲大連商業—南山寮

岩崎3—0三浦
上田3—0谷
橫尾1—3田代
廣瀨3—1友澤
見島3—0馬淵
岩崎3—0田代

護國祈願祭の行進歌練習と「滿洲の守備」觀映

三十日午後一時から本社講堂に於て村岡樂童氏指揮の下に本社主催の護國祈願祭行進歌「奮ひ立つべき時は來ぬ」の練習がありますから、滿日婦人團員の方は勿論、一般有志の婦人方も奮つて御參集下さい、歌の練習がすみましたら映畫「滿洲の守備」と奧地穀倉地帶の實寫を見る筈です、時間は必ず嚴守されたく團員の方は團員章をお忘れなきやう願ひます

眞言宗慰問使

總本山高野山金剛峰寺は第三次慰問使として眞言宗滿洲開教監督菅野經禪師を特派し二十九日二十一時北滿チゝハル方面に出發した

東本願寺慰問使

東本願寺滿洲開教監督部ではチチハル皇軍慰問の爲め猿見田明校、月輪孝雄兩師を派遣することゝなり兩師は十二月一日出發の筈

安樂椅子

錦州問題に關する米國官邊の我國に對する意見の硬化說が傳へられた日、米國通の鶴見祐輔氏が滿洲視察のため來連、所謂「米國の輿論」なるものにつき左の如く語る。

……◇……

米國の輿論といつても、聯盟理事會邊に影響を及ぼしてゐるのは、主として米國の所謂識者階級—學者、實業家、言論界方面の意見でこれは最近では「東洋における日、米兩國の利害は一致し得るものであり日本はワシントン、ロンドン兩會議における態度にみるも誠實である」との比較的公正な認識をもつて日本の立場を理解してゐる。

……◇……

然し、一般大衆といふか前記識者階級以外の民衆となると巧妙な多年に亘る支那側の宣傳もあり却々厄介である、今日までの所では米國の日支事變に對する輿論は前記識者階級の意見がリードし大勢を支配して來たやうであるが我國におけると同樣政治家が選擧區の低級な民衆に迎合して往々排日的論議を叫ぐ傾向があるので油斷がならない、上院議員のボラー氏なんかでもこの選擧地盤擁護のため排日論をやるのだから……

滿日各地版

在奉婦人團體の聯合會結成さる
時局の重大性に鑑み 十九團體、五千餘名

【奉天】今回の時局重大性に鑑み奮起した在奉婦人連は廿八日午後一時から滿鐵社員俱樂部に於て奉天聯合婦人會の發會式を擧行した參加者は在奉婦人十九團體でその數五千名に餘りその代表者五十名によつて女性として意義ある結盟式が行はれた先づ開會の辭に次ぎ君が代齊唱、議事に移り同會設立經過報告、會則審議役員選擧等あり聲明書朗讀後來賓側森島領事の祝辭で午後三時半頃閉式した尙その聲明書、婦人會略規及び結成團體は左の如くで更に午後七時から同俱樂部で婦人講演會が催され盛大であつた

聲明書

祖國日本は今や空前の難局に直面して居ります、老若を問はず男女を論ぜず擧國一致此國難に當るは日本國民の名譽ある義務で御座います、特に事件發生の現地にある私共婦人は徒に袖手傍觀する事が許されません民族發展の第一線に立つ者の平素の覺悟を一層新にして婦人の立場から獨身の奉公と應分の寄支を致すべきで御座います祖國と正義と人道の名に依つて私共に呼び掛けて居ります婦人の立たねばならぬ秋であります團結は力で御座います私共二十の婦人團體は茲に結盟を固くし奉天婦人聯合會の雄々しき產聲を擧げます私共は婦人に共通する社會的使命の故に汎く全滿の婦人團體を糾合し母國の各種團體と相呼應して能く未曾有の危局に善處せんことを期します、婦人は人道に屬します女性は平和の守護者であります東洋の平和を確保し東北軍閥の秕政と暴戾より三千萬の民衆を開放し百萬の同胞に安住の地を得せしめ滿洲を化して民族共榮の聖地たらしむべき重き使命にして帝國の立場を私共女性は熱き胸を以て支持せんとするものであります同時に私共は不可避の犧牲の出來るだけ小さからん事を心から祈念致します茲に奉天聯合婦人會の創立式を擧行するに當りまして私共の祖國の正義に對する忠誠と平和に對する熱望を披瀝致す次第で御座います

事業要項

一、世界及び日本全國の婦人團體に聲明書を發送す
一、全滿婦人聯盟を組織すること
一、罹災民救濟事業
一、傷病兵慰問
一、戰死者の弔慰
一、軍隊慰問

慰靈祭に於る喇嘛僧の弔辭

【奉天】二十九日朝、奉天忠靈塔において營まれた喇嘛僧二百名の慰靈祭における弔辭左の如し

弔辭

平和を愛好する我等喇嘛教徒一同は茲に恭しく名譽ある日本戰死者の靈に申す
惟ふに滿蒙の地は軍閥の虐政に委せられ三千萬の無辜の良民は塗炭の苦に喘ぎつゝ慟天哭地只管平和幸福の日の來らん事を仰望し御佛の慈悲を願へり、然るに今や御佛の冥助灼然として現はれ精鋭にして且つ道義心に溢れたる日本軍は御佛に代り破邪の劍を振つて暴虐なる軍閥を膺懲し東北の地に平和の曙光を望み得るに至れり、我等等しく日本軍の正義と慈悲とに對し感謝し措く能はざる處なり、然れども我等民衆の幸福の爲に滿蒙の野にあたら一命を捨てたる多數の戰士の靈に對しては如何に弔慰の道を盡すも尙及ばざるを憂ふるものなりされど我等喇嘛教徒は信ず卽ち軍閥の蹄鐵に蹂躙せられたる滿蒙の地を化して迦陵頻伽の囀る境地たらしめんことこそ唯一の慰靈の道なるを、又斯くして尊き鮮血を徒爾ならしめざる事は我等喇嘛教徒が御佛より托せられたる崇高なる使命なるを深く信ずるものにして我等の靈爾たる一命は之がために敢て惜むものにあらざることを英靈に對し誓はんと欲す、茲に我等喇嘛教徒一同の快意を述べ以て弔辭となす、英靈よ請ふ瞑せよ、十一月廿九日奉天喇嘛七ケ寺代表得力格加卜、注喜

撫順の强盜

【撫順】二十七日午後十一時東劉山豪農魏學禮(三七)方に長銃所持の四人組賊押入り二人は外部に見張り家人を脅迫現大洋二十八元大洋票二十六元强奪賊は發砲逃走

長春

飛行隊歸還す

北寧線の形勢惡化のため二十七日朝奉天方面へ出動した長春飛行隊は二十八日午後歸隊陸上兵も午後八時半着列車で歸長した

劉巡警の官葬

二十七日夜城内南關に於て不幸賊彈のため殉職した長春市公安局巡警劉振斌氏の葬儀は二十八日正午より公安局葬として執行されたが日本側からは武波警察署長、春木警務主任、梶野憲兵分隊長以下憲兵多數その他が出席したが長春では巡警の官葬など未曾有のことで支那側の參列者夥しく頗る盛儀であつた

鐵嶺

森守備司令官 麥粉を寄贈 支那窮民に

森守備司令官は今回當地方事務所長を通じ海城縣地方治安維持委員會に對し縣下支那人農民にして匪賊の被害を蒙りたる者にメリケン粉一千袋寄贈の旨ありたりとかにて孫委員長は本日午後一時より諸議及び地方委員と共に海城地方事務所派出所に會合の上同所主任さこれが分配施與方に關し協議する處ありたり

勇士の歡迎送

北滿各地に轉戰して赫々たる武勳を輝かせ勇名を馳せた鐵嶺工兵中隊長花井大尉以下の幹部は二十七日チチハルを發し某方面に第二の計畫に着手すべく〇〇部隊と共に二十八日午後六時臨時列車にて當驛を通過したるが鐵嶺官民數百名は花井中隊通過を聞き小旗を振つて迎送大いに努め驛頭は官民と勇士達の交換する萬歲々々の叫びで天地を撼がせ彌が上にも士氣を鼓舞した歡迎送であつた、因に工兵隊主力は同夜十一時列車にて通行した

勇士を歡待

野砲第二十六聯隊の一部百十二名は二十八日朝鐵嶺に到着待機したが鐵嶺時局後援會では暫時の間でも慰安と休息の時間を與へたいといふので午後から急に宿舍の割當てを行ひ驛を中心として附近に散宿せしめ全員に煙草、菓子などを贈り佐官以上の幹部を松花に招待慰勞の宴を催したるが勇士達の休息を引受けた各家庭では心からなる歡迎の意を表し能ふ限りの歡待を盡したやうである

本溪湖

婦人會の活動

本溪湖婦人會にては時局以來出征軍人に對し慰問或は慰問品贈呈等に赤誠を披瀝し又た皇軍通過の際は夜中驛頭にて藥の斡旋等を爲す努力に對し一般より非常に感激されて居る

李濟東氏着任

本溪縣自治會委員長李濟東氏は數日前正式着任せしを以て二十七日午後三時より日支官民約五十名を支那街西海興に招待新任披露宴を張つた

中谷警務局長

關東廳中谷警務局長は二十八日當地通過安東に署員慰問の爲め出張二十九日午後五時着列車にて來溪一泊署員慰問の上三十日奉天に向ふ豫定である

營口

警備團の射擊

營口警備團にては二十九日午後一時半から滿鐵第三埠頭附近の高地に於て實彈射擊を行ふ

水電會社の總會

水電會社にては二十八日午後三時半から商務總會内に第五十回株主總會を開き各議案を異議なく可決承認同四時閉會した

加賀氏送別會

前水電社長加賀種[illegible]二氏は不日[illegible]の筈につき一日午後五時半から武藏野に於て送別會開會の筈である

溝帮子田莊臺方面の支那兵

目下溝帮子、田莊臺間に配置されある東北軍の兵力は田莊臺に陸軍解散兵を以て組織せる自衛團百名及び第十九旅の兵五十名、大窪に一箇營約六百名、田莊臺、大窪間に裝甲列車十三輛を置きこれに二百五十名の兵乘車して居る盤山には二箇營約一千二百名、溝帮子には三箇營約一千七百名駐屯して居る

撫順

中谷警務局長

時局に奔走せる警官慰問の爲め關東廳中谷警務局長は二十八日八時十分來撫署員を本署樓上に集め慰問と訓示を與へ電車沿線等を巡視十一時五十五分で離撫したが署員に林檎三箱と酒肴料一封を贈るところあつた

沿線往來

◀佐藤滿鐵理事 廿八日來奉
◀二宮參謀次長 廿八日チチハルより歸奉
◀中谷關東廳警務局長 廿八日撫順往復
◀竹中滿鐵理事一行三名 廿七日四平街へ
◀滿洲派遣外國武官一行十一名 廿八日巨流河へ

曙の鐘 (124)

倉田潮

河野想多 書

短刀 (一)

マリアは剛太郎の身に異變が起つたと云ふ女中のしらせを聞くと急いでマントを引つかけて部屋を出た。長い間殆ど夢中で話し合つてゐた良子の姿は既に其の時何處にか消え失せてゐた。おそらく一と足先に彼女も洋館へかけつけて行つたのだらう。

マリアは庭に出ると、晴れた星空を仰いで、澄んだ大氣を胸一ぱいに呼吸した。北斗は早くも頭の上を越して、東の空はやゝ明るくなつてゐるやうだつた。大地は霜柱に堅く凍つて、マントを着てゐるのに體がぞくぞくする。

洋館を見上ると灯がどの部屋にも明るくともつて、廊下を周章てゝ走り去り走り過ぎる人影が、ガラス戸をすかして走馬燈のやうに見える。玄關には巡査が物々しく警戒線をはつてゐて、出入の人をすいかしてゐたが、彼女と入れ違ひに私服の警官が三名、急いで何者かの後を追跡して行つた。

マリアは非常に不安になつた。良子とよい氣持でつまらぬことを話し合つてゐたので、こんなことにならうなぞとは豫感にさへ思はなかつた。一體剛太郎は何んなことをされたのだらう。そして、誰がしたのだらう。それに、たえ子は何うなつてゐるのだらう。

巡査が土足で廊下を走り廻つてゐる。それに交つて階段を上下する女中や仲居の顔には、何れも恐怖と狼狽の色が濃く刻みつけられてゐた。

マリアは人の流れるまゝに流れて、つひに五階にたどりついた。入口のがらんとした大きい部屋に人が一杯になつてゐる。その人をかきわけながら中に這入ると、お冬やお夏を始め多くの仲居達に取りすがられて、剛太郎が大の字に牀に斃れてゐた。

マリアはそれを見た時異樣な胸騷ぎを覺えた。何時もの剛太郎とは全く似ても似つかない姿だつた。體は到る處白蠟のやうに白く透きとほつて非常に美しい。生前あれほど醜惡に見えた眼の下の肉袋も、脂肥りにふとつた顔も、今見ると少しも醜惡に見えないのみか、浮世の苦るしみの跡がそこに印されてゐるやうに神々しくさへ見える眼はアーチに似た太い眉の下に安らかに閉じて、口は樂しい希望を行く手に認めた時の如く、かすかな笑ひを浮べてゐる。

マリアは剛太郎が死んだと思ふと同時に、神の御手に救はれてゐると云ふことをハッキリと感じた。彼女は初め屍體を見て鳥渡驚いたが直ぐ快よい喜びを覺えた。剛太郎は並外れて辛い宿命を神にあたへられて來た。ひどい荊棘の路を歩む運命を持つて生れて來た。その業が、カルマが今終つたのだ。魂は神のもとに歸つて行つたことであらう。そして、神はこの次にけいきよくの路を歩いて來た剛太郎に、安らかにおだやかな道を與へたまふであらう。しかし、剛太郎は一體誰に殺されたのか。

二人は町醫者で、一人は警察醫だつた。それが交る交る剛太郎の屍體をけんあんした。最後に警察の醫者がマリアのそばに立つてゐた署長にむかつて、

「死は完全してゐます」と云つた

「やはり斧でやられた傷がもとで腦溢血をおこしたものと思ふのが至當でせう」

兇器の斧はすぐそばの女中の前に持つて來られてゐた。署長は指紋をさる爲か、柄の尖たんを指でつかんで、

「でも、切つたのではないですね反對の側で打つたのですね」

と云つた。すると、警察醫は、

「さうです、打つたのです。で、僕は死の原因にはならなかつたが導火線になつて、腦溢血を誘致したのです」

と答へた。すると、町醫者の一人がその内しよ話を聞きつけて、急に屍體のそばから立ち上つて、

「飛んでもないことです。打撲傷はたゞ輕い目まひが氣絶を誘致しただけですよ。死因はこれ、これです」

と剛太郎の右腕を差し上げて見せた。そこに二分ばかりの人目につきにくい傷があつた。

新刊紹介

◀近代生活(十二月號) 我が農民文學論(佐々木俊郎)日米野球漫筆(春日俊吉)餘りにディトリッヒ的な、野田誠三)創作、空氣銃(久野豐彥)舟出(今日出海)姿態(那須辰造)雪の降る夜まで(山田一夫)價二十五錢、東京市麴町區土手三番町十九番地近代生活社)
◀刀劍と歷史(十一月號) 燒直し物に就て(本堂蟹歩)燒直石切眞守に就て(佐藤富太郎)劍客實話(本堂蟹歩)新刀大鑑肥前、肥後(若木一郎)劍界漫談(越次禿頭生)價五十錢、東京府澁谷町若木一番地羽澤文庫
◀滿洲公論(第十一號) 滿洲慰問の感想、大連市談會(價五十錢、大連市紀伊町九番地滿洲公論社)
◀石楠(十二月號) 價九十錢、東京市外中野町西町四〇番地石楠社
◀旅(十二月號) 價四十錢、東京市神田區鍛冶町神田驛前日本旅行協會
◀爾靈(十一月號) 價三十錢、關東廳警務局内南滿洲警察協會
◀日本魂(十二月號) 價三十五錢東京市京橋區南八丁堀一ノ九、十日本魂社
◀植民(十二月號) 特輯海外發展觀爭座談會、故田付駐伯大使の思ひ出(價五十錢、東京麴町區下六番町五〇日本植民通信社)
◀農業世界(十一月號) 增刊農產加工號(價四十錢、東京市小石川區戶崎町四十六番地博文館營業所)

けふの放送

大連 JQAK

十一月三十日午後六時十分
◀ニュース
◀兒童科學講座「最近科學文明の概觀」(第十八回)大連神明高等女學校大貫正
以下內地中繼(七時)
◀ラヂオ風景「圓タクに聽く」久松新作(懸賞當選作品)柳永二郎、伊志井寬、高梨俊堂、山田巳之助、南一郎、大東鬼城、菊波正之助、梅田重朝、小堀誠、小堀計作、北島テイ子、村田峰子、小村京子、子、其他伴奏及群衆、放送指揮山野貧一郎
(以下大連放送局より)
◀職業紹介事項
◀天氣豫報
◀ニュース

怖ろしい…… 痔核と痔瘻 痔 (下)

痔を大別すると痔核と、痔瘻の二種になる。痔核とは俗にいふ疣痔で、あらゆる痔病の原因となるものである、痔瘻は痔核とはかなり性質の違つたもので、多くは肺結核に基因するものである。痔核と痔瘻は言ふまでもなく肛門病中の兩大關で、前者は痔病の約八割を占め、且つ痔出血、脫肛裂痔等の重症に變ずる一大危險性を孕んで居るものであり後者は肺病菌との關係があり無數の瘻孔を穿つて次々に命を削る恐るべき難症である

◇

痔核、痔瘻共に治療法としては手術を以て最も良しとするのが今日の醫學の定說である、しかし手術必ずしも萬全の策とは云ひ難い疣痔などで一ケ處を手術して後に又他の部分に發生することがあつて幾回となく手術を繰返すとか、痔瘻で、身體の衰弱がひどく、結核增進の危險があるとか●費用や責任ある醫師が見當らぬ場合など患者が手術を嫌ふのは無理もないことである。しかしそれかと言つて痔は放任すればその結果はあまりに分り切つてゐる。

◇

かうした患者のヂレンマを解決し、光明に導く唯一の道は現在の處、優秀な藥物の力による外はない、藥物には手術ほどの明快な効果はないがしかし又危險性も絕無で、患者が若し、自分で治さうとするなら、信用のできる藥を選んで之に賴り、同時に攝生を守つて徹底的に治療することが最も肝要である。

◇

「小松ち(?)の藥」はかうした患者の切實な要求に答へる殆ど唯一の痔疾藥である、その効果は鎭痛、收斂、止血、肉芽新生の四大作用を併有し、且症狀に應じて交互に使用出來るやう、膏藥、座藥、內服の三種に分れてゐて、どんな輕症者にも、又重症者にも向くやうに細心の注意が加へられてゐる。實驗者は既に數十万人に達し、なかには數年に亙る痼疾を征服した人などもあつて、藥効の點は何と言つても他藥の追從を許さぬとの定評がある。

◇

疣痔は勿論痒痔とか出血とか、又今頃から冬にかけて患者の苦しむ裂痔等にも此藥獨特の効目は充分實證に値するものがあるが、只痔瘻の患者は本藥を使用するばかりでなく、常に肉體の榮養補給と充分な攝生を守らなければ全治の光明を發見することは不可能であるかも知れない。何痔疾を眞劍に治したい人は本藥を用ふると同時にこの藥の本舖たる東京市日本橋區瀨戶物町玉置合名會社から發行されてゐる「痔疾患者の福音」を參考のために一讀すべきであらう、此書には凡そ痔病者に必要な一切の治療と養生の方法が詳述されてゐる、本舖へハガキで申込めば何人にも無代で贈呈される筈。

ス長官の誣告聲明にわが朝野擧つて憤激

干渉がましき其態度を非難し外務當局を鞭撻す

【東京廿九日發】スチムソン氏の聲明は今や俄然日本各方面に憤激を招き上下擧つて其行動を非難してゐるが貴族院もこの干渉がましき聲明に痛く憤慨し殊に軍部が政府の統制に依らずと云ふが如きは如何なる根據に依るかと聲明の餘りにも輕率なるを責め、民政黨は我軍の行動は飽迄正當とし權益擁護、邦人保護の爲に自衛的行動を執るに對し第三國の干渉を許さずとし政友會亦同樣に我軍行動の正當なるを裏付けスチムソン氏の態度を非難し外務省の軟弱さを攻撃すると共にこれを極力鞭撻すべしとなして居る

出淵大使ス氏と會見

【ワシントン二十八日發】日本の朝野に非常なセンセイションを捲き起こしたアメリカ國務長官スチムソン氏の聲明なるものにつき其の眞僞を確むべく本國外務省から訓令を受けた駐米日本大使出淵勝次氏は本日國務省にスチムソン長官を訪問會談する處あつたが右會見後同大使は新聞記者に對し日本軍は錦州に向ふような事はないであらうと語つたのみでスチムソン長官の聲明に憤慨して日本外務省が出したステートメントに言及する事を避けた

號外　二十九日朝第一號外を發行す

青年聯盟の代表挨拶

第三回滿洲青年聯盟母國派遣代表鯉沼忍、岡田猛馬の兩氏は二十九日はるぴん丸で歸連したが直に市内各方面を挨拶に廻つた

日本の輿論激化にス長官驚愕す

直ちにフ大統領と協議の上に新聞記者と會見釋明

【ワシントン廿八日發】アメリカ國務長官スチムソン氏が日本軍は錦州攻撃の意圖あるものと認め日本政府文武兩當局の錦州攻撃否定の對米誓約は蹂躙せられたりと解し日米間の秘密な意見交換の内容を暴露して斷然たる對日態度に出る事となつた旨がある筋を通じて日本に傳はり外務當局は勿論朝野の大なる激昂を喚起した旨の東京電報は廿八日早曉(日本時間廿八日夕刻)ワシントンに達し當のスチムソン長官をいたく驚愕せしめ氏は右來電を閲讀し終るや午前九時五十分ホワイトハウスにフ大統領を訪ね卅分間熟議を遂げたのち國務省に引返し

一、國務長官は日本が一切の國際條約に違反し滿洲を完全に其の支配下に納めんとする意向であると認めんとした事實なし

一、在滿日本軍の行動を狂亂的と評せる事なし

一、國務省より日本政府に對し何等右に關するいひかけ(チヤージ)を送れる事なし

と言明すると共に誤解を解くため廿七日新聞記者と會見の際ス氏の持ち居た談話草稿を發表した

日本朝野の靜觀を希望

駐日米國大使の聲明

【東京二十八日發】アメリカ國務長官スチムソン氏が二十七日アメリカ記者團との會見に於て日本軍の錦州方面進出に對し日本を誣ふるが如き聲明を發表したと傳へらるゝに對し東京駐在アメリカ大使フォーブス氏は本日記者に左の如き聲明を與へた

傳へらるゝスチムソン長官の聲

出淵大使に眞相照會急電

嚇怒した我外務當局

場合により何等かの措置

【東京二十八日發】アメリカ國務長官の暴言に幣原外相以下外務首腦部はスチムソン氏の眞意を訝かりつゝも嚇怒し二十八日午後首腦部會議の結果

若し聲明が事實ならば世界の對日輿論は惡化し日本は重大なる損害を被るを以つて之れを外交問題としてアメリカ政府に何等かの措置に出ればならぬ、事實ならずとせばスチムソン氏の釋明を求める必要がある

と云ふに決し直に出淵大使に其の眞相照會の急電を發した

明に關しては確實な報道に接してゐないから余としては目下の處何とも言明する事は出來ない然し總て公式の報に接し右報告に依つて該問題に對する誤解も一掃されると思ふから日本朝野は夫れまで靜觀を持せられたいと希望して止まぬ

各國武官チチハルへ

在奉中の英、米、佛、波、伊各國駐在武官及び伊國參事官の一行六名は二十九日午後三時三十六分發列車で關東軍司令部よりの案内の下に四平街より洮南を經て昂々溪附近の戰跡視察に赴き齊々哈爾まで行く筈、なほ滿鐵弘報係より一行の動靜を活動寫眞に撮る爲め芥川、早川の二氏同行した【奉天電話】

新聞記者に對する談話の草稿發表

誤り傳へられたる點につきス長官より釋明す

【ワシントン廿八日發】スチムソン國務長官が廿七日新聞記者團との會見に使用した談話草稿を發表しその中誤り傳へられたる點を左の如く釋明する所あつた

十一月二十三日余(スチムソン氏)は錦州附近にある支那軍に對し日本軍司令官が軍事進出を計畫しつゝある如き印象を與ふる新聞報道を余が大なる憂慎の念を以つて閲讀せる事及び此の種報道には何等の基礎なかるべきを余が心より信頼する事を日本外相幣原男に通ぜられ度き旨在東京大使フォーブス氏に申し送れり、其の翌日即ち二十四日には錦州に對し軍事行爲なかるべき旨を合意せる人々は幣原男と陸相と參謀總長となる事及び其の趣旨の開會が既に發せられた事を余はフォーブス大使を通じて幣原男に依り保證せられたり此の事實より見る時は本庄軍司令官の軍隊の前進に關する報道に信を置く事は余に執つて困難なる事なり

ス氏の行動こそ九國條約を破壞

外交慣例を無視した言辭と外務當局强硬聲明

【東京特電二十九日發】二十八日外務當局より發せられた聲明左の如し

米國務長官スチムソン氏は廿七日記者團との會見で試みた聲明は事實なりとせば由々しき問題である、スチムソン氏の如き地位ある者が外交慣例を無視して且極端な非友誼的言字を以つてなる聲明を爲すが如きは殊更に日本を侮辱せんとする疑ひ無きを得ぬ、第一我が外交機關の存在を無視したものであつて所謂グレイプコンセケンスを招來する惧れがある、日本政府は直ちにこれが眞相の調査を出淵大使に訓電すると共に米國に對し有効的なる外交行動を開始する方針である

我が滿洲に於ける軍事行動は純然たる自衛權の發動であつて第三國に對して遺憾の意を表する必要は少しもない、將來とも自衛權の發動をみないと誓約する如き事の不可能な事は自明の理である

スチムソン氏は日本の滿洲に於ける行動を九ケ國條約に違反すると言明してゐるが同條約第一條第四項には支那を除く友交國の安寧に害ある行動を是認する事を差控へる事と云ふ明文がありスチムソン氏の行動こそ反つて九ケ國條約の精神を破壞するものである

遼西地方に於る關東軍の行動

＝昨夜陸軍省の發表＝

【東京特電二十八日發】陸軍省で一は二十八日午後八時遼西地方に於ける關東軍の行動に關し左の如く聲明した

馬占山軍に對し自衛的作戰に依り我軍の主力部隊はチチハル方面に移動するや錦州方面支那軍は馬占山軍と策應し我軍の背後を衝かんとする情勢を示し大馬賊數集團を操縱し新民屯以南滿鐵沿線に襲來頻々たり我軍は之が特殊的掃蕩に努力中なりしところ二十六日夜突如天津に於いて再び支那兵の不法なる挑戰に基き天津駐屯軍及び六千の居留民危殆に瀕するの

報あり、同時に錦州附近の支那軍活動開始の兆あるを認め之に應ずる爲め二十七日朝奉天附近部隊を北寧線に沿ひ前進せしめチチハル附近の主力部隊を奉天附近に集結爾後行動を準備し居れり、金谷參謀總長は右報告に接し之に基き二十七日午後三時三十分前記部隊の前進を停止せしめ之を遼河以東に配置せしめたり然れ共依然沿線を脅し治安破壞の策謀を反復するにおいては我軍は之を排撃するの行動を執るの已むなきに至る事ある可し

日本軍は決して敵對行爲に出ず

自衛權發動と警察行爲に止まると日本代表部の回答

【パリ二十八日發】錦州方面の緊迫に鑑み去る二十五日理事會議長ブリアン氏が日支兩國勸告に對し日本代表部は本日左の如き日本の回答を傳達した

日本軍は自衛權發動或は警察行爲を除きては敵對行爲に出づるものではない、若し支那軍隊が錦州より撤退すれば日本軍は日本人の生命財産が危殆に瀕せざる限り敢へて中立地帶に入らぬであらう、然し日本軍は錦州地方に極めて多數の支那正規兵が存在する事並に支那當局が滿洲の秩序攪亂の爲め便衣隊を雇傭し居る事に依つて非常な脅威を受けてゐるものである、事態惡化防止の爲め日本政府の執り來れる政策を守りつゝ、あるは日本軍は自衛權發動或は警察行爲以外には決して敵對行爲に出でざるものであつて日本政府は錦州地方に於ける日支戰鬪を出來得る限り防止する點に於いて貴下と全然其の希望を一にするものなり

外交部長顧維鈞氏

正式任命を發表

【南京二十八日發】國民政府は本日外交部長代理顧維鈞氏を正式外交部長に任命發表した

在留邦人何れも増兵遲さを憤慨

天津支那側の對日態度は益々暴慢となる

【天津特電二十八日發】支那側の態度は依然暴慢にして今や蔣介石軍の改裝兵(正規兵を便衣さ)する應援と積極的に對日戰鬪を準備した

一、香椎軍司令官の抗議に對する回答は一ケ條も實行せず現に(イ)東端に鐵甲車を備へ(ロ)メソヂトス教會事件を利用して我が兵士を狙撃負傷せしめ(ハ)正規兵を改裝して市街に入れ(ニ)連日深夜租界を砲撃せるなどは其の一例

二、桑島總領事の再三の抗議に回答せず

三、各國領事團に誣言傳するなどその適例さす

敵は西地區に對し益々砲擊を加へ間斷なく前線を射擊するも我が軍は司令官の命令にてこれに應射せず塘沽より陸戰隊〇〇〇名來津本日より警備につく、海光寺兵營附近にて陸戰隊一名狙撃さる、居留邦人は租界内に散宿し靜かに時局の成行きを望觀しつゝあるも危險區域より安全區域に避難せるものは千三百二十七名であるが男子は皆銃をとり義勇隊として第一線に參加し婦女子のみ留守する光景悲慘にして全邦人は政府の增兵遲きを憤慨し萬一の場合死を決して暴支と戰ふ覺悟である、一方支那側には排日運動がますく熾烈である

城廓の敵の機關銃はあまりに使用し過ぎた爲め使用に堪へなくなつた事が判明したが一基は日本陣地に向け砲擊すべく目下準備中

昨夜九時迄の天津の戰況

【天津特電二十八日發】午後九時までの戰況は左の如し

目下西地區で交戰行はれ海光寺から八里臺に向ひ道路に沿ふ我軍陣地に四方から盛んに射擊しつゝあり南開女學校方面からも我兵營に向つて猛射を續けてゐる

實力恢復の好機を狙へ

張學良各旅に命令す

張學良は二十七日馬占山以下黑龍江省軍各旅長、丁超等に對し速かに實力を恢復し好機を待つて極力蹶起すべきことを命じ、また屯墾軍旅長苑崇谷に對し同軍の地盤たる興安屯墾區の恢復時期近きにありと警告激勵した【奉天電話】

橋梁を破壞し溝幇子に引揚ぐ

白旗堡進出の東北軍

白旗堡以東進出の東北軍は廿八日錦州政府の命に依り溝幇子に引揚げたが途中の繞陽河鐵橋數ケ所を破壞した、なほ溝幇子には憲兵武の第廿旅、黃顯聲の第十七旅、張廷樞の第十九旅が集結してゐる【奉天電話】

日租界を目標

重砲を据える

【天津特電二十九日發】支那軍は東北城廓に重砲を備へ(砲郵の照準)に向つて目標を定めてゐる

人事

◀岡田猛馬氏(滿洲青年聯盟母國訪問員)二十九日入港はるびん丸にて歸連

◀鯉沼忍氏(同)同上

◀藤田臣直氏(昌光硝子專務)同上

◀深水壽氏(滿鐵鐵道部技師)同上

◀貝瀬謹吾氏(滿鐵囑託)同上

◀中川有三氏(旅順工大教授)同上

◀尾形一郎氏(醫學博士)同上

◀篠原亮靜氏外三名(天臺宗慰問使)同上來連

◀仙臺教導學校卒業下士候補第十六聯隊十六名、三十聯隊十三名同上來連

蛇角

朔北の野に威武を耀かした皇軍〇〇聯隊、戈を冀北に向けて今日勇躍渤海を渡る。

◇

五百の寡を以て三萬の衆と抗立すること半月餘、天津部隊の勇武は嘆稱に餘りある。

◇

わが新鋭津門に到るの日、醜學良の膽潰え、兵燹の本據揺ぎ、滿蒙攪亂の禍根を拔除するであらう

◇

米國旗を立て、わが攻擊を緩め陣地を構築する支那兵も沙汰の限りだが、再三の國旗盜用を默認する國も國だ。

◇

スチムソンの日本恫喝聲明、果然日本の國論を硬化させ、スチムソン果然軟化して舌を引つ込めたら。

◇

鬼面は脫いだだけではいけない燒いて終へ、アメリカの所謂硬化に比例して日本も硬化すると知つたら。

『東亞の詩』休載

白雪皚々の曠野に見る 繞陽河附近激戰の跡

皇軍、敵の猛射に對し沈着勇敢に戰ふ

繞陽河にて二十八日發 西村久彌特派員

繞陽河驛占據の第一夜は全くあけて白雪皚々の曠野は二十七日の激戰も忘れたかのやうに旭日に輝いてゐる停車場を中心に集結されたわが○○部隊の車輛は蜿蜒長蛇の列をなしては兵士たちの炊煙が賑やかに始まつてゐる、三等車の一隅、緊張のまどろみから覺めた記者は昨日の戰鬪に第一線にたつて奮戰した兒島大隊長に親しく案內されて後退した敵の第一線に立つて戰の跡を具さに視察することが出來た、わが軍の前進に猛烈な砲射を浴せた敵の第一陣地繞陽河驛には味方の應射を無數にうけてプラットホームのそこかしこに尺餘の穴をあけて鮮かな命中ぶりを示し事務所の窓硝子は四方に飛散しコンクリートの驛名標識がブチ拔かれるなど凄い當時の戰鬪を如實に物語り、蒼皇として一目散に退却した狼狽の樣々がアリ〳〵と頭に浮ぶ

目擊した附近住民の語るところによると多數の負傷兵が慌だしく列車に擔ぎ込まれたといひ、又我偵察機の報告によれば裝甲機關車の爆發を打倒し運轉困難となつたのでこれを救援すべく出迎へた機關車も猛射を浴びて驚き友軍を捨てて退却した模樣で敵の損知の頗る大きかつたことも容易に推知することが出來る「地の利に據つて待ち構へた敵の猛射に對し沈着勇敢に戰ひこれを擊退し得たのは全く神佛の加護によるものだ」と兒島少佐は驛頭に輝く日章旗を見上げて感慨無量の面持である、正午敵の最前線を視るべく裝甲列車に便乘した。繞陽河驛より約六キロ餘前進すればそこは無殘にも鐵橋が破壞されて遙か視野のうちに敵の裝甲列車らしい黑影がかすかに見える、敵の射擊をさけるために乘組の將校數名は物かげに下車して點々と爆破現場に進めば敵方の黑影が怪しく動いて遂に緊張した空氣が漲る車上の砲士は擊たば擊つその構へをとり後方の砲兵陣地に向つて射擊準備を命ずる、僅か二千米突を距てた厲家窩棚驛には退却した敵の裝甲列車が更に砲陣をしいて挑戰の準備を進めてゐるのだ、打虎山には更に多數の正規兵が戰鬪準備を進めてゐるのだ

寒月の下に炊ぐ 焔影もの凄し

悠々迫らざる我精銳

繞陽河にて 立上特派員發

二十七日、敵の裝甲列車と衝突して遂に戰鬪を開始し之を擊破した皇軍は直に追擊せんとしたが敵は逸早く後退すると共に各所の鐵橋線路を破壞したため前進不可能となつた我軍先頭部隊は繞陽河驛に停車するのやむなきに至つた、各機關車の給水に係員は必死である、寸暇を利用して飯盒炊爨するため兵士はそれ〳〵分擔に就く、皎々と曠野を照らす神無月の月光を浴びて戰の前の腹ごしらへのため右往左往

あるものは附近の古枕木を運び、或者は飯盒の米をとぐ、他の者はカマドを造る、パット眞紅の焔が寒月の中天に上る、鐵棒を渡してこれに數十個の飯盒がかゝる、規律正しい臺所の姿だ、またゝく間に飯盒の蓋がグッ〳〵と動く鐵棒から飯盒が下される、車の中に運び込まれる、牛罐が開けられる、溫かい飯が兵士の口に這入る『溫かい飯が食へるなど豪遊々々』と兵士の顏面に喜びの色が漂ふ、元氣さが一層加へられたやうだ、戰ひを前にして悠々迫らざる態度皇軍の強さ躍如として現はれてゐる、一時の活氣も亦元の靜けさに還る、八時十時十一時と時が經ち車內の宿營の兵士達は夢を故鄉に馳せてゆう〳〵と眠りに就く（二十七日夜記）

天津へ！滿洲へ！ 混雜の大連埠頭

東京に初雪 十一月に降つたのは三十年振り

【東京廿八日發】二十八日午後八時頃から東京に初雪あり濕度も一度一分を示した、十一月に雪を見たのは明治三十三年十一月十七日以來で今年は三十年振りに早い初雪で中央氣象臺でも驚いて居る

大連青年團の滿洲事變獻金 一千圓を突破

大連青年團主催のもとに一般市民より募集されし滿洲事變獻金は團員擧つて必死の運動に依り既に一千圓を突破し現在金一千十二圓七十六錢にしてこの外倘申込を受け現金未收のものあり決濟次第其の明細を發表し適宜の方法を以て軍部に送達する由

勞働者階級が遙かに眞劍

輿論喚起に母國を訪問した 青年聯盟代表歸る

滿洲問題に對する母國の輿論は日を逐ふて硬化してゐるが更にその徹底を期するため第三回の母國訪問をなし不眠不休三週間に亘つて母國朝野の輿論喚起に努めた滿洲青年聯盟代表岡田猛馬、鯉沼忍の兩氏は二十九日入港のハルビン丸にて多數の聯盟員に迎へられ

元氣に 歸連したがサロンにて交々語る

上京以來首相、外相、陸相、參謀總長並に各大臣、政界の主なる人々、また天聽に達するため奈良武官長、關屋宮內次官等に會見し、夜は更に各學校、公會堂の演說會で毎日二回、三回、多い時は四回に亘つて滿蒙問題の眞相をうつたへ、歸途は京都大阪の二ケ所で大いに輿論の喚起に努めた、軍部の態度は何度行つても終始強硬で心強く感じましたが、外務當局は最初より明かに狼狽してゐることが看取せられ漸次に強硬となつてきてゐることは判りますが

本質的 に強硬とは言へません、只國民の輿論に引きづられてゐるだけで恰も寒暖計の如く外界の氣溫が上るにつれて次第に上るといつた狀態です、故に此の際更に滿洲よりその眞相を愬へて國民の輿論を硬化しそれにより外務當局の態度を強くすべきだと思ひます、東京は言ふ迄もなく各地とも輿論は頂點に達してゐるようで殊に在鄉軍人の活躍によつて滿蒙の重大性が諒解され深刻となつてゐます、殊に淺草、本所といつた方面の人々が

最初は 戰爭の話ばかり聞きたがつてゐたのが、この頃では滿蒙物資の點、重工業と輕工業との關係並に滿洲新政權樹立後の滿鐵との關係といつた方面に留意するようになつたのは驚くべき變化で、識者よりも却つて勞働者階級の方が眞劍です更に各大學の學生が非常に眞劍になり滿洲をして政黨の喰物たらしむることから離脫するためこの

機會に 日本の社會組織にも相當の改革を施す必要はないか等深刻に考へてゐるやうです

今夜歌舞伎座で 非常市民大會

在滿日本人時局後援會

錦州方面出動のわが軍隊撤退により支那軍は日本組し易しと見てますく增兵し今や滿洲の治安は暴戾なるこれ等支那兵のため蹂躪されんとする危機に瀕してゐるので在滿日本人時局後援會は二十九日午前十一時半より市役所會議室に緊急委員會を召集しこれが對策を協議の結果今二十九日夜六時より歌舞伎座に於て非常市民大會を開催し決議案を打電して手溫き政府要路を鞭撻する事となり午後一時散會した、なほ非常市民大會は

一、開會の辭 小川、市長
一、座長推薦 小川 市長
一、宣言 脇屋 次郎
一、決議 同 上
一、宣言決議文打電通告附議 小川 市長
一、非常市民會大會終了

の順序で開催し引き續き演說會に移り各々「非常に際して」と題し吉田親毅、大內成美、恩田熊吉郎、仙波久良、熊谷直治、相川米太郎、中世古清繼、岡野勇、吉川義章、福田顯四郎、今村貫一、小野實雄、田邊敏行、蔦井新助、森宣次郎、石本鏆太郎、長谷川良之助の諸氏交々起つて熱辯を振ふ事となつた

死傷卅餘名を出し 千山馬賊團退却す

賊は「遼寧護國軍」の赤腕章をつく 出動の討伐隊引揚ぐ

千山馬賊討伐に出動した鞍山守備隊味岡中隊長以下八十二名は二十八日夜七嶺子奧の廟前臺に宿營し二十八日夜十時四分着列車で來鞍した海城守備隊一個小隊は直に大孤山に向つた、兩隊は今朝連絡を保ち一齊に千山奧深く進擊して敵の主力を殲滅する目的である、二十八日の戰鬪により賊は死體を遺棄し退却したが松木騎馬隊の猛烈な砲擊により敵は死傷三十餘名を出した模樣である、偵察隊は廿八日夜十二時歸着したが一名の負傷者もない、賊は遼寧護國軍の赤腕章を附してゐたと【鞍山電話】

各地で公安隊 賊團と交戰

二十九日午前三時頃西房身附近附近において公安隊は百餘名の馬賊の一團に遭遇し交戰中である、青雲觀の賊は十時頃石橋子、頂嶺子方面に退却中である、海城縣方面に退却中の百餘名の賊は公安隊と交戰し數名射殺された、目下地所屯附近は激戰中【鞍山電話】

赤十字派遣の看護婦東京發

【東京二十八日發】滿洲の酷寒に惱みながら暴戾な支那軍や馬賊等と戰ひ名譽の負傷をなした我忠勇な將士を看護すべく選拔された赤十字社の看護婦二十餘名は二十八日午後九時四十分東京驛發列車で元氣よく出發した、一行は遼陽と奉天の衞戍病院に赴く筈である

大連卓球大會

滿洲卓球協會主催、本社後援の大連卓球大會は二十九日午前九時より敷島町青年會館に於て十三チーム參加の下に擧行、本シーズン最初の大會とて參加各選手必死となつて戰ひ各ゲームとも接戰を演じ觀衆手に汗を握る午前中の戰蹟左の如し

山本運具店—南滿瓦斯
南山クラブ—SYクラブ
沙河口工場—小野田セメント
用度（窯業）MSGクラブ

竊盜犯人の家族へ同情金

竊盜犯人の家庭の貧苦に同情した犯人を捕へた刑事隊が發起のもとに醵金して犯人一家を救つた美談の本紙記事に市內西公園町共濟寮主光永幸氏、同寮內家政婦等も大いに同情し金五圓、光明臺二一小林周吉氏三圓をそれぞれ廿九日小崗子署を通じて若比須町藤田平三郎家族に贈つた

天氣豫報

三十日 北西の風（曇）一時晴 但し驟雨模樣

各地溫度

	廿九日午前十一時	廿八日最低
大連	五、五	零下三、七
旅順	五、八	同 二、九
營口	四、三	同 一〇、五
奉天	二、六	同 一三、八
長春	零下一、七	同 一四、八

護國祈願祭の行進歌練習

あす午後一時から本社講堂で 滿日婦人團員と希望者へ

滿蒙の 重大な時局に際し、わが帝國の武運長久と安泰さを祈るべく、我社主催の下に來る十二月六日を期し全大連市民の護國祈願祭を擧行することは既報の通りですが、これが紙上に發表されるや忽ち市內各種團體から祈願祭參加の申込が殺到して居ります、先般結盟式を擧げました大連婦人團體聯合會加盟の各團體でも本社のこの擧に贊意を表し進んで當日の祈願祭に參加する意端だそうです、當日は午前九時大連神社に於て

祈願祭 を擧行し、式後は各自旗をかざし村岡樂童氏作詩作曲の行進歌「奮ひ立つべき時は來ぬ」を高唱しつゝ市內を行進し忠靈塔に參拜解散の豫定ですが、滿日婦人團員一同も當日は揃つてこの祈願祭に參加する筈になつてゐます、その行進歌の練習を明三十日午後一時から作者の村岡樂童氏が指導して下さることになりましたから團員の方は同時刻までに本社講堂に御參集下さい、なほ歌の練習がすみましたら滿鐵弘報部が特に滿日婦人團のために提供して下さつた映畫「滿洲の守備」三卷と奧地穀倉地帶の大豆の收穫、特產物出廻り等の

實寫を 見ることになつてゐます、時局柄現地方面の實寫を見ることこそ滿蒙をより深く正しく認識するために必ず有意義だらうと信じます、尙祈願祭に參加希望の婦人方で滿日婦人團員外の方も御遠慮なくこの歌の練習に參加されることを希望いたします

熱誠こめた歡送迎に 湧き返る大連埠頭

けふ駐滿初年兵の着連と前後 滿洲部隊天津へ出動

我が帝國の生命線南滿鐵道沿線の守備隊に加はるべく芳賀大尉に引率された○○職隊初年兵○○○名は御用船○○丸で二十九日午後一時來連、直に甲埠頭に上陸したが同時にこの御用船○○丸で天津方面へ出動する櫻野少佐指揮の○○師團○○聯隊も甲埠頭に集合した上陸兵と出動兵に滿ちた甲埠頭は戰時氣分に滿ち〳〵てゐたが、この勇士達を送迎する市民は埠頭待合室から岸壁廣場に充滿し、各團體旗を立て並べ手に〳〵日の丸の小旗を打振り萬歲々々と叫び熱誠こめた歡迎ぶりであつた、出迎へ人代表として小川大連市長來滿、出動部隊へ鄭重なる挨拶をのべこれに續いて芳賀大尉、櫻野少佐こも〳〵答辭をのべ出動部隊は直に○○丸に乘船、形勢刻々と惡化する天津方面の邦人保護のため午後三時一路天津へ向つた、又來滿部隊は今後千々千里の曠原における活躍をひかへて一夜の勞を休めるべく關東軍倉庫へ向つた

日本租界と運命を共に 在留邦人の悲壯なる覺悟

駐屯軍の努力感謝のほかない 久保田濟通丸船長の話

最近の天津方面の情報を滿載して二十九日午前十一時濟通丸は塘沽より入港したが豫期に反して天津方面よりの避難民は殆ど乘込んでゐなかつた、濟通丸の久保田船長は語る

塘沽には天津よりの避難民らしいものが二十名餘り來てゐましたがその殆ど全部は內地へ歸りました、まだ日本租界を捨てて避難する程前途を悲觀されてもゐませんし又たとひ支那軍の攻擊が在留邦人の生命財產を危くしたとしても涙ぐましい駐屯軍の努力振りを見ては日本租界を後に逃げ出す氣持ちには我々日本人には到底起きて來ません『日本駐屯軍全滅し日本租界が支那軍によつて占領される時には在留邦人は租界と運命を共にするのだ』と一同悲壯な覺悟をしてゐるのです實際天津の日本駐屯軍の努力には感謝の外はありません、旣に御承知でせうが酒井步兵隊長の如きは盲腸炎手術直後なのです、香椎軍司令官以下一同非常に心配されて今しばらく靜養するやうにとすゝめるのですが「帝國軍人の名譽のためにも自分は此の危機に際してブラ〳〵靜養などしてゐることは出來ない、戰場に倒れることは旣に覺悟してゐる」と云つてどうしても第一線から引くことを肯じないとのことです又先 支那軍の砲彈が日本軍司令部に命中し我が兵が幾人か戰死した相ですがその時幸ひに無事なるを得た香椎軍司令官は顏色一つかへず『敵の砲擊は正確になつて來たぞ、一層努力して租界と日本帝國の名譽を守れ』と居合せた參謀に云はれたとのことですこの軍司令部命中でも知れるやうに敵の射擊は實に正確でこれに應戰する駐屯軍並びに海軍陸戰隊の苦心は想像以上です、卑怯な支那軍は晝間は殆んど攻擊して來ません、ですから晝間は租界內の通行も出來ますし又少し努力すれば塘沽まで出る事も出來ます勿論租界外から日本租界に入るものは嚴重な身體檢査がされます、しかし夜は絕對外へ出られません、支那街及び日本租界は全部電燈を消してゐます、外の租界の灯が夜の空に明かく〳〵と反射してゐる中に全く死んだ町のやうに暗黑を守つてゐる日本租界は實に不氣味なものです、僅かの駐屯軍と海軍陸戰隊に守られて死を決してまで踏み止まつてゐる邦人の悲壯な胸のうちを大連市民にも察してもらひたいと思ひます

社告

本月は決算・付諸支拂を二十九、三十日と致しましたから兩日中に御集金に御出で下さい

滿日社會計部

暗流阿修羅館 (257)

生田蝶介　挿畫　藤井耕達

刃傷（一）

「な、田沼殿、どうでござらう」

忠友は、云ひにくさうに、しかし、心にしつかり決するところがあるやうに面をおかして云つた。

しかし、田沼意次は默つてゐた。別に、怒つてゐるやうにも見えなかつた。聞いてゐるのか、聞いてゐないかわからぬほどじつとしてゐた。

「私のやなものが、この樣なことを云ふと、生意氣だとお思ひでせうが、こゝは、ようくお考へにならなければなりません」

「……………」

「いま、こゝで、御勇退なさいませんと、四面楚歌の聲に、耳をおふたぎになることゝおもひます。私のこの言葉は、私が云つて居りますが、これは、恐らく、すべての人の心が私をして云はせてゐるのでせう。こゝでお要ひにならないと、すべての人が、貴方に、お迫りなするでせう。さうなつたらもう遅いとおもふのです。私が勝手に、大老に勇退をれがつて、私がそのあとに坐らうとする野心を充たすための、そんな子供らしい考へからでは無いのです」

いくら云つても、意次は、痛痒を感じないごとく默々としてゐるのが、忠友にはだんだん腹立たしくなつて來た。石地藏に口說いてゐるやうで馬鹿々々しくさへおもはれて來たのだつた。

「これだけ云つても、お解りになりませんのですか。こゝで、御自分から責をひいてお退きになつたやうな風にお見せになれば、おのづから人々の心も柔らいで、無事にすみますが、このまゝ、素知らぬ顔をしてつゞけておいでになりますと、必ずや人々はそのまゝに放つてはおきますまい。恥を千古に曝すばかりでなく、或は貴方に御不慮の事がありはしないかと、失禮だが、心配でなりませんのです。さうはお思ひになりませんか。何もかも未然にふせぐには、どうぞ一日も早く然るべく御處置下さるやうお願ひします」

「いや、御親切な御意見、一々有難うござる」

「お解り下さいましたか、ちと言葉が過ぎまして、御無禮の段々、お許し下さいますやうに」

「松平殿なりやこそ、そのやうに正面からはつきり云つて下さるのぢや、何とも思つては居り申さぬ」

「このやうなことは、まことに申上げにくい事で、本來なら默つて事のなりゆきを見てゐるのでせうが、私の性質として、どうも知つてゐて默つてゐるわけに行きませず、逆に意見がましく、ほんとに生意氣だと苦々しくお思ひでしたことでせう。この通り冷汗が出ます」

と、忠友は懷紙で額を拭えた。

遂に家治も逝つてしまはれた。

世人、うすく家治の病んでゐることは知つてゐたが、よもや御他界があらうとは豫期してゐなかつた。

竹代丸の死についても一部、その死因について、奇怪な噂がたてられたのであるが、此度の將軍家治の死については一層怪しい噂が囁傳された。

それは大老田沼意次が將軍家治に毒を進めたといふ噂であつた。そが單なる噂であるか、事實であるか、といふことについては意次、敬順以外には忠友、東庵位しか知つてゐないのである。

東庵は、一度危なく暗討に遭ふところであつた。そして、その曲者は何者であつたか遂にわからなかつた。

忠友は、それと云はずに、今暫く意次に勇退をすゝめたのであつたが

「しかし、考へて置かう、これは一寸重大なことだ」

と意次は云つた。

キネマと演藝

銀鈴少女會 舞踊會 收益を献金

銀鈴少女會は定期公演を時局の爲め遠慮してゐたが、この際消極的な沈默よりは寧ろ進んで何等か公に奉ずるの我々國民としての意義が有るとして父兄及可憐な少女達の純情を披瀝した意味で時局献金の大舞踊會を公演し其收益の全部を軍事費の一部に献金することになつた、期日は十二月五日午後六時半及び六日午後一時よりの二回協和會に於て開催する會券五十錢にてプログラムは例により銀鈴獨特の斷然洗練されたる番組を上演すると

舞踊研究所 義捐會 櫛木氏が出演

大連舞踊研究所の櫛木龜二郎氏は自ら舞臺に立ち軍資献金の義捐舞踊會を十二月十二日午後七時から協和會館にて開催することになつた、出演者は櫛木氏を始め大連が生んだ女流舞踊家として知られて來た吉井正子孃、稻垣壽子孃の外、舞研師範科卒業生に童謠舞踊の小野京子孃等で會費は五十錢、このうち十錢を軍資献金とし、更に純益金があれば戰死者遺族へ弔慰金として贈呈する由

寶館經營者 近く變更 館主名義は吉田眞三氏

目下松竹映畫を上映中の寶館は中央映畫館ノ落成と共に早晩同映畫の引揚となるので、その後の興行策を如何にするか、また同館主吉田眞三氏が來月早々から映樂館を經營する關係上、寶館とは當然絶縁するものと見られてゐた折柄、吉田眞三氏は映畫界出資の總職ある平田貞助氏との間に金六千圓を以て經營に關する一切の權利及び備品を讓渡する契約を交し家主との關係上名義のみは現在通り吉田眞三氏として寶館の經營は松竹映畫引揚後平田貞助氏が鶴谷前浪速館支配人を起用して經營することゝなり、平田氏は前浪速館經營者との間に相當の諒解あるもの、如く傳へられてゐる、なほ上映々畫は大衆興行を目標とする關係上、赤澤キネマと契約し東亞、帝キネの內檢切れによるものと見られてゐる

嵐菊麿東活へ

東活では三二年度に於いて、羅門光三郎澤村國太郎等の大スターと共に、必ず賣出すべき新スターとして、かれて安部所長を始め幹部連が慎重に人選中今回關西梨園名門の出の嵐菊麿を入社せしめ、續々主演映畫を製作することゝなつた、嵐菊麿は舞臺時代から、その非凡なる技能を認められ天才子役として定評があつた。その嵐菊は時代映畫の新花形として恥しからぬ堂々たるもので、第一回作品は目下脚本選定中である。

噂話

來る五日開館の豫定であつた映樂館は其後日取を變更し大體七日の吉日と內定し▲發聲映寫機も着荷したので來る二日に橫濱から來連ずみ技師を待つて愈々据付に着手する▲主任解說者は福岡に二人、京阪に一人づゝ都合四人の候補者があるので近日中に吉田館主が旅客機で飛ばしてきめて來る筈▲また更に新しい噂によると越春第一週には「間諜X第廿七號」が上映されるとか▲大分洋畫配給系統にも異狀を生じさうな雲行きを示してゐるが、果してどこまでがホントウか▲蓋をあけて見ぬうちは判らぬところに映畫界の微妙な動きがあるとは言へ▲松竹映畫引揚げ後の寶館も評合說があるもまだ全く見當がつかぬらしく▲事によると飛んでもないものが契約されるのでないかとも風評されてゐる

本社特選 新棋戰（其六）

香落　三段　△塚田正夫（十八歳）
初段　▲久松英之輔（廿一歳）

【圖は六二歩迄の局面】
▲久松氏「持駒」ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一		△桂				△金	△銀	△桂	△香
二				△歩		△金	△玉		
三		△飛	△歩		△歩		△角	△歩	
四	歩			歩	△銀	△歩	△歩		△歩
五		角	歩						
六		歩	銀	銀	金			歩	歩
七	香		桂			歩	歩		
八				飛			玉		
九						金		桂	香

△塚田氏「持駒」歩歩

△五五歩　▲二四角
△四六金　▲四三銀
△五七銀　▲七四歩
△五五桂　▲八八と
△六六飛　▲八七と
△六七銀　▲八六と
△七四角　▲七六と
△同　銀　▲八八飛成

【土居八段講評】▲久松君が一旦二四角と上り後の用意を整へ、然して後に輕く七四歩と突き攻防の意味に出たのは面白い趣向である△塚田君は自營備れて居るため攻勢を採るに難く極力應戰しつゝ巧に金銀を集注したのは好い兩敵の八六とに對し若し同飛と指さば九六成香、八九飛、九五成香にてや、全滅の形となる故本譜の七四角の手段は至當。

【荻原六段解說】下手二四角は先手で敵四六歩なら四五銀と強く指す含みである。下手四三銀は此處で四五歩と攻めると五四歩四六歩、同歩となつて、同角では四八飛成となり八五角の力が偉大になるから四三銀は已むを得ない上手五七銀は敵四五歩なら五六金で差支へないのであるから五七銀と敵の四五歩突きに備へ飛車の活用を圖つたのはよい手である。下手の七四歩は敵の六三歩成を防ぐ輕い受けで、同角では八六飛の活用があるから上手も六五桂と捌いて敵のと金より遠ざかつたのは巧みである。上手六六飛と指して、敵八七とに對し六七銀と引いて白營の備れを補足したのはよかつた。六六飛と指さずして六七銀と引く樣になつては飛車の活用が狹くなつて上手惡いのである、上手七四角は八六同飛と指すと九六成香と指されて惡いので七四角と指したのである。

HEAVY SERVICE
DUNLOP